

鎌ヶ谷市郷土資料館年報

第 36 号

[令和 4 年度]

鎌ヶ谷市郷土資料館

目 次

I 管理・運営

1 施 設	1
2 予 算	1
3 組 織	1
4 日 誌 抄	2

II 事業報告

1 常 設 展 示	5
2 常設展示観覧者数	6
3 第 25 回ミニ展示	7
4 第 26 回ミニ展示	12
5 新 資 料 展 示	17
6 教 育 普 及 活 動	21
7 当館学芸員講師派遣	28
8 資 料 閲 覧 実 績	28
9 収 蔵 資 料 の 利 用	28
10 市 内 歴 史 ・ 民 俗 資 料 調 査	29
11 資 料 収 集 (寄 贈 ・ 寄 託 資 料)	31
12 歴 史 ・ 民 俗 資 料 等 の 整 理 状 況	31
13 古 文 書 の 修 補	32
14 他 機 関 と の 協 同 事 業 ・ 調 査	32
15 レ フ ァ レ ン ス	33
16 報 道 対 応	33
17 博 物 館 実 習	34
18 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	34
19 刊 行 物	34
20 市 ホーム ページ 掲 載 記 事	34
21 刊 行 物 の 売 払 実 績	35

III 条例・規則

○ 鎌ヶ谷市郷土資料館設置及び管理条例	36
○ 鎌ヶ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則	37
○ 鎌ヶ谷市史編さん審議会条例	37

IV 寄 贈 図 書	42
------------	----

I 管理・運営

1 施設

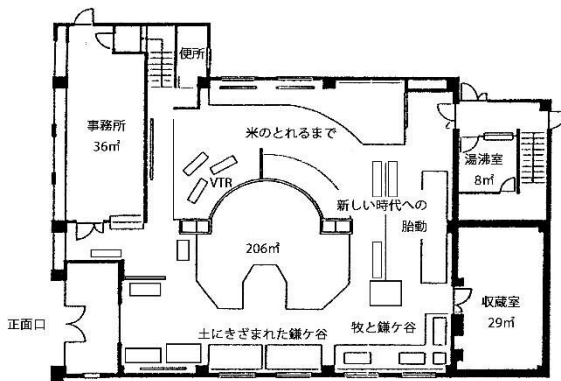
〈施設概要〉

- 建物名称 鎌ヶ谷市郷土資料館
- 所在地 鎌ヶ谷市中央1-8-31
- 開館年月日 昭和62年4月1日
- 構造 鉄筋コンクリート造2階建
- 敷地面積 480.14㎡
- 建築面積 336.70㎡
- 延床面積 668.67㎡
- 見取図

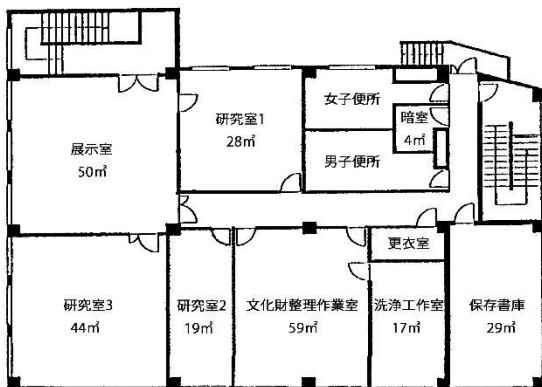


郷土資料館の外観

1階



2階



2 予算

項目	内容	予算額 (千円)
報酬	パートタイム会計年度任用職員報酬	5,258
職負手当等		926
報償費	講師謝礼	124
旅費	費用弁償、普通旅費	292
需用費	消耗品費、燃料費 印刷製本費、光熱水費、修繕料	2,550
役務費	通信運搬費、手数料、保険料	189
委託料	清掃委託、文化財くん蒸委託 空調設備保守点検委託 古文書修補業務委託 機械警備委託、古文書撮影マイ クロフィルム化委託 消防設備保守点検委託 消毒委託、自動ドア保守点検委 託	1,646
使用料及び貸借料	リーダープリンター使用料 パソコン使用料 複写機使用料 AED借上料 ガス漏れ警報器借上料	1,323
備品購入費	郷土資料館用備品	40
負担金補助及び交付金	千葉県史料保存活用連絡協議会 負担金 千葉県博物館協会負担金	13
当初予算額		12,361

3 組織

- 館長 1名 (学芸員)
- 主任主事 1名 (学芸員)
- 再任用職員 1名 (学芸員)
1名 (事務職)
- 会計年度任用職員 6名 (内 学芸員3名、
事務補助3名)

4 日誌抄

〈令和4年〉

▼4月

- 2日 とっこめ桜まつり
HP更新「第6回デジタル写真館」
- 7日 資料寄贈（歴史資料96点）
資料閲覧（歴史資料／個人）
- 8日 現地調査（旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫）
資料閲覧（歴史資料／市内事業所職員）
- 12日 団体見学（船橋市・俳句の会／10名）
- 13日 資料調査（市役所地下書庫令和3年度末廃棄市歴史公文書選別作業）
- 27日 文化財保存活用地域計画協議会
資料移管（歴史資料／市企画政策室）
- 28日 資料借用期限延長（歴史資料）
資料調査（民俗資料／南部小学校）

▼5月

- 11日 HP更新「第7回デジタル写真館」
- 19日 講師派遣（南部公民館シルバーセミナー／40名）
- 26日 資料閲覧（歴史資料／鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会広報担当者）
- 27日 資料調査（歴史資料整理）
- 30日 資料閲覧（考古資料／東京大学他3大学研究者）
- 31日 講師派遣（北部公民館シルバーカレッジ／31名）

▼6月

- 1日 『郷土資料館だより』第59号発行
- 2日 千葉県史料保存活用連絡協議会総会（県文書館）
- 3日 資料閲覧（歴史資料／市職員）
- 4日 資料借用（歴史資料13点）
資料寄贈（歴史資料1点）
資料閲覧（歴史資料／個人）
- 9日 資料閲覧（歴史資料／鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会広報担当者）
- 12日 現地調査（おしゃらく踊り軽井沢地区新公園お披露目会）
- 15日 資料寄贈（歴史・民俗資料3点）
- 17日 資料貸出（歴史資料／昭和学院高校）
- 19日 資料閲覧（歴史資料／神戸大学教授・大学院生）
- 21日 資料利用（歴史資料／市安全対策課）
- 22日 資料借用期限延長（歴史資料）
- 23日 西部小出前授業（6年生／3クラス99名）
団体見学（デイスターズだんらんの家／9名）

資料閲覧（歴史資料／鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会広報担当者）

- 27日 現地調査（佐津間・民俗行事）
資料寄贈（民俗資料6点）
- 28日 団体見学（柏市・野馬土手ウォーキング／8名）
資料寄贈（歴史資料23点）

▼7月

- 1日 資料調査（歴史資料整理）
- 2日 かまはらの会（郷土資料館ボランティアの会会合／図書館）
団体見学（市町村アカデミーOB会／11名）
- 7日 資料貸出（考古資料／千葉県立中央博物館）
- 14日 市歴史公文書搬入（地下書庫保管分（1回目））
団体見学（ルポゼ東松戸デイスターズ／6名）
- 15日 資料寄贈（歴史資料2点）
- 16日 第25回ミニ展示「一本松遺跡展」開始（～9月25日）
- 18日 施設利用（撮影／鎌ヶ谷南初富演劇部）
- 20日 東京修復保存センターへ修補用資料持込
- 21日 資料寄贈（歴史・民俗資料24,454点）
資料寄託（歴史資料1点）
- 22日 取材対応（読売新聞京葉支社）
- 23日 HP更新「第8回デジタル写真館」
- 25日 講師派遣（東初富公民館いきいき倶楽部／36名）
資料閲覧（歴史資料／市まちづくり室職員）
- 26日 取材対応（読売新聞京葉支社）
- 29日 取材対応（読売新聞京葉支社）
資料寄贈（民俗資料9点）
資料寄贈（歴史資料1点）
- 30日 子ども講座「縄文人の生活ウォッチング」（9名）

▼8月

- 2日 取材対応（千葉日報）
取材対応（東京新聞）
- 4日 取材対応（船橋よみうり）
取材対応（J:COM）
- 12日～20日 博物館実習
- 16日 市歴史公文書搬入（地下書庫保管分（2回目））
- 19日 資料調査（歴史・民俗資料／澁谷家母屋内）
- 24日 市歴史公文書搬入
- 26日 資料閲覧（歴史資料／市安全対策課職員）
- 27日 資料寄贈（歴史資料3点）
- 31日 市歴史公文書搬入
農業委員会蔵書搬入

▼9月

- 4日 団体見学（それいゆ牧の原／12名）
- 8日 講師派遣（北部公民館タウンセミナー／30名）
- 9日 千葉県博物館協会第1回調査研究委員会オンライン会議
- 10日 資料閲覧（歴史資料／個人）
資料閲覧（歴史資料／個人）
- 14日 市歴史公文書搬入（山武市外部倉庫保管分）
HP更新「第9回 デジタル写真館」
- 15日 『郷土資料館だより』第60号発行
資料移管（歴史資料／下水道課）
資料貸出（船橋市教育委員会）
資料寄贈（歴史資料6点）
- 16日 取材対応（NHK千葉放送局）
- 21日 データ提供（NHK千葉放送局）
- 24日 取材対応（交通新聞社）
- 27日 団体見学（若返りウォーキングの会／29名）
- 28日 市歴史公文書搬入（旧クリーンセンター保管分）
視察説明（澁谷家住宅／市教育委員）

▼10月

- 2日 講師派遣（まなびいプラザ／語り部の会／20名）
- 4日 貸出資料返却（考古資料／中央博物館）
HP更新「第21回 史料整理の現場から」
- 7日 資料閲覧（歴史資料／個人）
- 8日 千葉県博物館協会第2回調査研究委員会オンライン会議
団体見学（放課後等デイサービスひまわり／6名）
- 9日 資料閲覧（歴史資料／市教育委員）
- 12日 出前授業（北部小学校5年生2クラス／50名）
市小学校副読本作成打合せ（館内）
- 13日 団体見学（あおば談話会／7名）
- 20日 講師派遣（東部学習センター／56名）
- 21日 資料寄贈（考古資料／個人）
- 22日 令和4年度新資料展示 開始（～1／29）
- 23日 資料受納及び聞き取り調査（民俗資料／市内個人）
資料受納（民俗資料／市内個人）
- 26日 資料閲覧（歴史資料／個人）
- 28日 取材対応（毎日新聞）
資料寄贈（民俗資料7点）
資料寄贈（民俗資料1点）
資料寄贈（民俗資料1点）
- 30日 歴史講演会Ⅰ（46名／まなびいプラザ）
取材対応（船橋よみうり）

▼11月

- 1日 団体見学（船橋市・教28会9名）
- 5日 現地調査（南鎌ヶ谷／個人宅）
資料借用（歴史資料28点）
- 6日 講師派遣（鎌ヶ谷市語り部協会／20名）
- 9日 講師派遣（東部シニアクラブ／25名）
- 10日 資料閲覧（歴史資料／個人）
- 15日 『郷土資料館だより』第61号発行
現地調査（鎌ヶ谷／個人宅）
資料受納（歴史・民俗資料／市内個人）
- 16日 団体見学（南部地区社会福祉協議会／25名）
- 24日 資料寄贈（民俗資料15点）
資料寄贈（歴史・民俗資料14点）
- 29日 取材対応（読売新聞京葉支社）

▼12月

- 1日 講師派遣（北部小6年生キャリア教育／17名）
- 2日 千葉県史料保存活用連絡協議会第1回研修会（県文書館）
- 3日 聞き取り調査（初富／個人宅）
資料返却（初富／個人宅）
- 6日 千葉県博物館協会第1回役員会（県中央博）
資料閲覧（歴史資料／市道路河川管理課職員）
- 8日 資料寄贈（歴史資料202点）
資料寄託（歴史資料397点）
- 9日 資料貸出（聖火トーチ／市文化スポーツ課）
- 11日 資料館セミナー①（37名／図書館）
- 21日 HP更新「第22回 史料整理の現場から」
- 22日 第2回印西市歴史文化施設基本計画策定委員会（印西市役所）
貸出資料返却（歴史資料／船橋郷土資料館）
資料閲覧（歴史資料／防衛省防衛研究所戦史研究センター安全保障政策史研究室職員）
- 25日 資料館セミナー②（31名／図書館）
資料閲覧（歴史資料／防衛省防衛研究所戦史研究センター安全保障政策史研究室職員）

〈令和5年〉

▼1月

- 8日 資料館セミナー③（32名／図書館）
- 13日 資料館セミナー④（32名／図書館）
HP更新「第10回デジタル写真館」
- 14日 講師派遣（中央公民館／49名）
千葉県博物館協会第3回調査研究委員会オンライン会議

- 15日 資料閲覧（歴史資料／防衛省防衛研究所戦史研究センター安全保障政策史研究室職員）
- 17日 現地調査（旧鎌ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫）
- 19日 千葉県博物館協会・千葉県歴史合同研修会（リモート）
- 20日 資料館セミナー⑤（29名／図書館）
取材対応（読売新聞）
- 22日 資料返却及びミニ展示用資料借用、資料受納打ち合わせ（南鎌ヶ谷／個人宅）
- 24日 現地調査（旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫）
- 27日 澁谷家住宅整理及び展示・閲覧用資料搬出

▼2月

- 1日 資料閲覧（考古資料／千葉県文化財センター職員）
資料閲覧（歴史資料／防衛省防衛研究所戦史研究センター安全保障政策史研究室職員）
- 2日 千葉県史料保存活用連絡協議会第2回研修会（県文書館）
- 3日 聞き取り調査（館内）
- 4日 団体見学（ルポゼ東松戸／6名）
- 5日 HP更新「第23回 史料整理の現場から」
- 7日 資料調査（歴史資料／個人宅）
団体見学（五本松小3年生／2クラス67名）



- 8日 団体見学（五本松小3年生／2クラス64名）
第71回全国博物館大会（千葉大会）準備会及び第1回実行委員会（県文書館）
市生涯学習審議会（まなびいプラザ）
- 10日 資料寄贈（民俗資料2点）
- 14日 聞き取り調査（松戸市六実）
- 15日 資料調査・寄贈受納（松戸市六実）
『郷土資料館だより』第62号発行
- 17日 出前授業（北部小3年生／2クラス57名）
- 18日 団体見学（柏市・風の会／12名）
- 19日 ミニ展示用資料借用（鎌ヶ谷／個人宅）
- 24日 団体見学（中部小3年生4クラス／120名）
千葉県博物館協会東葛飾ブロック会議（県立関宿

城博物館）

- 26日 資料閲覧（歴史資料／歴史講演会講師）
自然観察会下見（佐津間地区大津川流域）

▼3月

- 2日 修補資料返却及びミニ展示資料借用（中沢／個人宅）
資料移管（歴史資料／下水道課）
- 3日 資料寄贈（民俗資料12点）
- 4日 自然観察会（佐津間地区大津川沿い／21名）
- 10日 千葉県博物館協会理事会（リモート）
『鎌ヶ谷市郷土資料館年報』第35号発行
- 12日 千葉県博物館協会東葛ブロック情報伝達訓練
- 15日 団体見学（佐倉道を歩く会／7名）
- 17日 資料閲覧（歴史資料／個人）
- 18日 第26回ミニ展示開始（～5／29）
団体見学（習志野市・ハニービー／8名）
- 19日 歴史講演会Ⅱ（50名／まなびいプラザ）
- 21日 取材対応（読売新聞京葉支社）
- 24日 澁谷家保存計画策定委員会現地説明会
資料返却（民俗資料／松戸市六実）
資料引き取り・搬入（歴史資料／南鎌ヶ谷／個人宅）
- 26日 資料閲覧（歴史資料／船橋市教育委員会職員）
- 29日 貸出資料返却（歴史資料／昭和学院高校）
資料借用（歴史資料6点）
資料寄贈（民俗資料4点）
聞き取り調査（道野辺本町／個人宅）
- 30日 聞き取り調査（道野辺本町／個人宅）

Ⅱ 事業報告

1 常設展示

【展示テーマ】

「鎌ヶ谷に生きた人々の暮らし」

市内に残されている自然・考古・歴史・民俗等の資料を中心に、原始・古代から現代までの各時代に生きた、市域の人々の生活を明らかにすることをテーマとしています。

〔土にぎざまれた鎌ヶ谷〕

旧石器時代

- 市域に人が住みはじめたころ

縄文時代

- 根郷貝塚に埋葬された人々
- 中沢貝塚発掘調査のあゆみ
- 貝塚を掘る
- 中沢貝塚の大型竪穴建物跡

市内では、今から約 30,000 年前の旧石器時代の東林跡遺跡などが確認されていますが、縄文時代に入るとさらに多くの遺跡が確認されています。その中でも代表的な根郷貝塚・中沢貝塚などから出土した土器・石器を中心に展示しており、特に根郷貝塚出土の人骨は県内でも貴重な資料です。

古墳時代

- 新たな時代の幕開け —古墳時代の鎌ヶ谷—

奈良時代～平安時代

- 奈良・平安時代のムラ
- 墨書土器と鉄製品

市内では現在のところ、弥生時代の遺跡は確認されていません。その後、古墳時代では一本松遺跡など、奈良時代では大堀込遺跡などが確認されています。平安時代初期の双賀辺田No.1 遺跡は特殊な性格をもった集落跡として注目され、遺物と復元住居を展示しています。

鎌倉時代～戦国時代

- 板碑 —中世の人びとの祈り—
- 佐津間城と佐津間村の人びと
- 市域出土の中世陶器

市内には佐津間城跡などの中世遺跡がいくつか確認されています。その中でも中沢の根郷No.1 遺跡や万福寺境内遺跡から出土した板碑・蔵骨器・灯明皿などを展示しているほか、市域の地名が初めて登場する古文書や佐津間城について写真で紹介しています。

〔牧と鎌ヶ谷宿〕

江戸時代

- 田中藩南相馬領の村々

江戸時代の市域の村の様子を知ることができる検地帳などの古文書を展示しています。

- 下総の脇街道「木下道」
- 鎌ヶ谷宿と鎌ヶ谷大仏

渡辺崋山が描いた「四州真景図」など、江戸時代に利根川沿岸と江戸を結んだ木下街道の宿場として栄えた鎌ヶ谷宿関係の資料を展示しています。

- 国史跡「下総小金中野牧跡」
- 牧士三橋家と清田家

江戸時代の市域には、江戸幕府直営の小金中野牧が広がっていました。牧の管理を担った牧士三橋家文書などを展示しています。

- 絵図でみた市域の村① —鎌ヶ谷村—
- 絵図でみた市域の村② —軽井沢新田—

江戸時代の市域の村々を残された絵図から紹介しています。

- 寺子屋で学んだ子どもたち

〔新しい時代の胎動〕

幕末・維新

- 草莽の志士 渋谷総司
- 市川・船橋戦争と市域

市内佐津間出身の幕末の志士で赤報隊の幹部渋谷総司関係の史料、市川・船橋戦争関係の史料など幕末・維新时期の史料を展示しています。

明治時代～平成時代

○初富の開墾

○開墾の父 北島秀朝

中野牧を開墾して成立した初富村の人々の苦労を伝える「養蚕大絵馬」などの資料を展示しています。

○学校のあゆみ

近代日本の発展と深い関係のある教育関連資料として、明治～昭和初年の教科書や年表を展示しています。

○鎌ヶ谷鉄道発展史

市域に関係の深い東武鉄道・新京成電鉄や、明治末～大正期にかけて木下街道に敷かれた東葛人車鉄道の写真パネルを展示しています。

○村から町へ、町から市へ

明治時代から第二次世界大戦直後まで農業が主体だった市域は、高度経済成長と首都圏への人口集中を経て、東京近郊の住宅都市へと生まれ変わります。明治・大正・昭和・平成の間に大きく変貌した市域を紹介しています。

○戦場に赴いた人々

○戦時下の暮らし

日中戦争・太平洋戦争と戦争が拡大・長期化するなかで、市域からも多くの人々が戦場に赴き、多数の人が命を落としました。このなかには、特攻隊員として出撃し、戦死した人もいます。

また、銃後の鎌ヶ谷村では、雑穀などの収穫をふやし、食料増産に取り組みました。

【鎌ヶ谷の民俗】

○谷津田の米作り

市域の米づくりは、下総台地に切れ込んだ谷津で行われていました。その概要がわかるように農具・写真パネル等を展示しています。

○様々な農具

明治～昭和期にかけての生活をイメージする手助けとなるよう、昔の家族の団らんの場で使用された民具等を展示しています。

2 常設展示観覧者数

入館者カードによる集計 単位：人、日
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

	市外	市内	男	女	大人	子ども	合計	日数
4月	73	123	114	82	168	28	196	25
5月	83	87	110	60	148	22	170	23
6月	156	85	151	90	189	52	241	26
7月	170	205	215	160	286	89	375	26
8月	203	220	235	188	325	98	423	25
9月	174	159	184	149	282	51	333	24
10月	68	146	120	94	185	27	214	25
11月	67	194	162	99	232	29	261	24
12月	75	89	110	54	139	25	164	23
1月	63	133	110	86	161	35	196	23
2月	58	351	208	199	156	253	409	22
3月	87	133	141	79	195	25	220	26
合計	1277	1925	1860	1340	2466	734	3202	292

3 第25回ミニ展示

【 一本松遺跡展
～縄文時代と古墳時代のライフスタイル～ 】

場所：郷土資料館 2階展示室

期間：令和4年7月16日～9月25日

(58日間 943名入場)



一本松遺跡は中沢地区北部に位置し、縄文時代後期および古墳時代前期の遺構、遺物が確認されている遺跡です。平成28年度の第4次発掘調査時に発掘した土器等実物の出土遺物や、遺構の写真などを展示しました。



展示内容

プロローグ 一本松遺跡とは

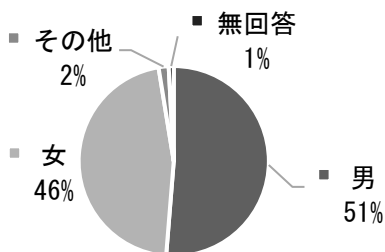
- ・写真ギャラリー

- 1 一本松遺跡の調査
- 2 一本松遺跡の縄文時代
- 3 一本松遺跡の古墳時代
- 4 ここまでわかった一本松遺跡の暮らし

エピローグ 一本松遺跡 その後

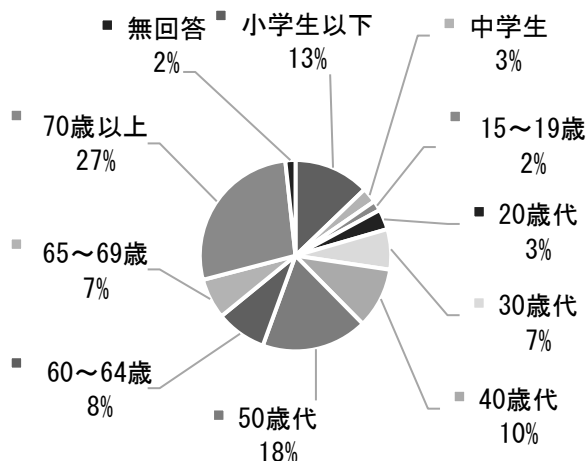
アンケート結果

Q1 ご性別



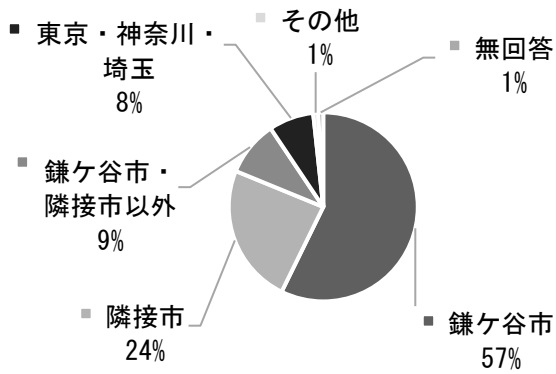
選択肢	回答数
男	60
女	54
その他	2
無回答	1
計	117

Q2 ご年齢



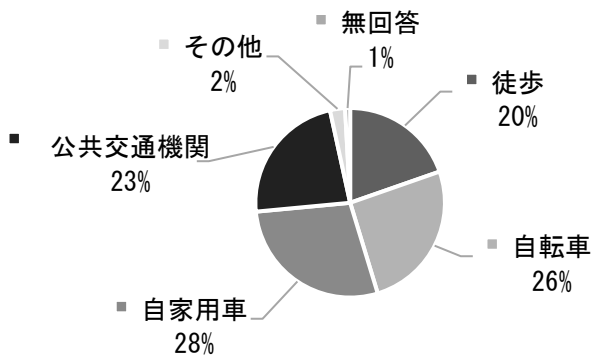
選択肢	回答数
小学生以下	15
中学生	3
15～19歳	2
20歳代	4
30歳代	8
40歳代	12
50歳代	21
60～64歳	10
65～69歳	8
70歳以上	32
無回答	2
計	117

Q3 お住まい



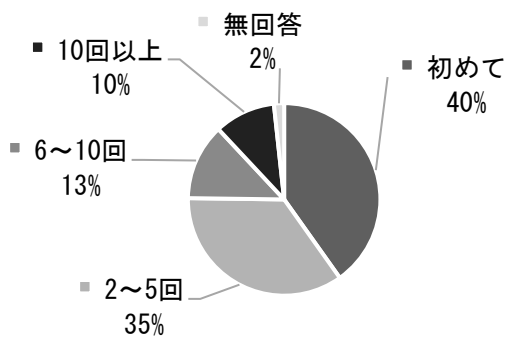
選択肢	回答数
鎌ヶ谷市内	67
隣接市	28
千葉県内	11
東京・神奈川・埼玉	9
その他	1
無回答	1
計	117

Q4 来館方法



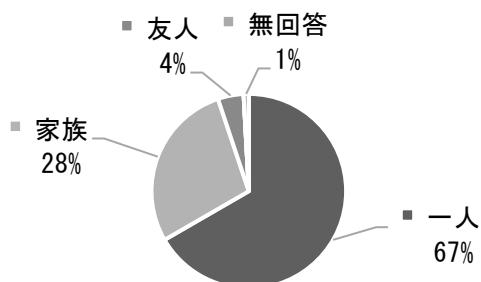
選択肢	回答数
徒歩	23
自転車	30
自家用車	33
公共交通機関	27
その他	3
無回答	1
計	117

Q5 来館回数



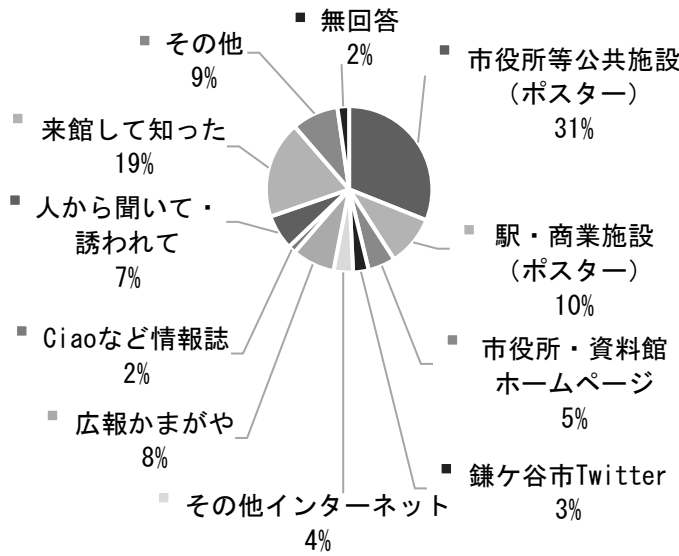
選択肢	回答数
初めて	47
2~5回くらい	41
6~10回くらい	15
10回以上	12
無回答	2
計	117

Q6 来館の同行者



選択肢	回答数
一人	78
家族	33
友人	5
学校などの団体	0
その他	0
無回答	1
計	117

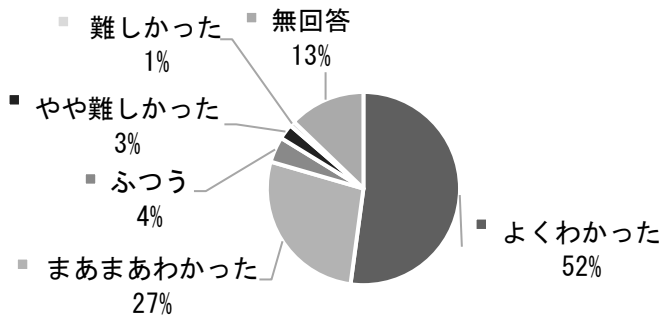
Q7 展示を知った方法



選択肢	回答数
市役所等公共施設 (ポスター等)	41
駅・商業施設 (ポスター等)	13
市役所・資料館ホームページ	7
鎌ケ谷市 Twitter (X)	4
その他インターネット	5
広報かまがや	11
Ciao など情報誌	2
人から聞いて・誘われて	9
来館して知った	25
その他	12
無回答	3
計	132

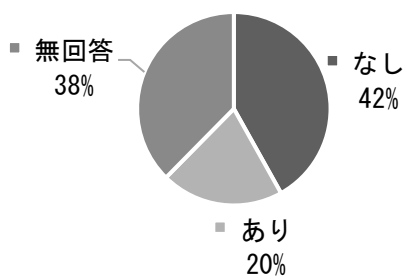
複数回答者 11 名

Q8 展示のわかりやすさ



選択肢	回答数
よくわかった	61
まあまあわかった	32
ふつう	5
やや難しかった	3
難しかった	1
無回答	15
計	117

Q9 詳しい説明が欲しい資料



選択肢	回答数
なし	49
あり	24
無回答	44
計	117

自由記入欄

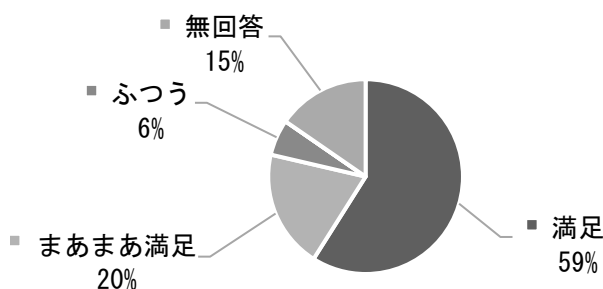
- ・石斧などの現物について：説明がないのでよくわからなかった。
- ・古墳時代の土器：ナデ、ハケ目、ミガキの違い
- ・縄文土器：なぜこの文様がついているのかの説明があるとうれしい。
- ・貝類の見本があるとよいのではないか。
- ・ひらがなでかいてほしい。
- ・柄鏡形住居について：埋甕があった事実はわかるのですが、この意義や八の字ピットとは何かわからない。
- ・住居跡の地下保存パネル：現状保存に係る行政の努力と地権者の協力
- ・SI-32 住居跡：各部位が生活においてどのように役立っていたのか。

- ・土偶：とてもかわいらしかったので、目の形の特徴や男女のちがい、輪かくの模様その他模様の説明等、添え書きしてくだされれば嬉しいです。
- ・深鉢型土器：どのような用途だったのでしょうか。
- ・土器・土偶全般：実際の使い方、作り方の手順、大きいものはどんな場所で作った？作ったら焼いた？
- ・縄文時代の石器：石器に矢印が付いていますが、その意味が分からなかったです。
- ・軽石製浮子：軽石の中で穿孔しているものの割合はどれくらいですか？
- ・小型壺：ミニチュア土器というけど、他のものとあまり大きさがかわらないので、どこがミニチュアなのかもっと具体的に知りたい。

Q10 一番印象に残ったもの、気になった資料

柄鏡形住居 (5) / 石鏃 / 貝 / 貝ブロック 種別・大きさ・時期差…何に起因するものなのか / 建て替え模式図 / 現在の道路図と重なってわかる地図 / 古墳時代の遺構・遺物について / 古墳時代の様子が気になった。 / 黒曜石 X線 / 黒曜石の産地推定 / 住居跡 / 住居跡の土こう跡 / 小型壺 / 深鉢 / 深鉢形土器 (3) / 身近なところにこの様な土器の発見が… / 全部(2) / 調査のその後(3) / 土器(2) / 土偶(16) / 土偶・打製石斧 / 筒形土偶、壺、埴、赤彩が施された土器 / 筒形土偶(2) / 縄文時代の遺構・遺物 / 縄文時代の石器(2) / 縄文土器、土偶(4)

Q11 企画展の満足度



選択肢	回答数
満足	69
まあまあ満足	23
ふつう	7
やや不満	0
不満	0
無回答	18
計	117

自由記入欄(満足度の理由等)

- ・あまり興味がなかったが、鎌ヶ谷の古き時代のことが分かった。
- ・じつぶつが自分の目で見られるところ。ちゃんと、かべにしりょうがはってあるところです。
- ・思ったより展示が少なかったから。
- ・土ぐうがかわいかった。
- ・身近にこんなたくさんのものが出土する場所があると知らなかったなので、勉強になりました。
- ・解説が丁寧で見どころをおさえて見られました。
- ・色々な時代の変化が早く（近く）ちょっと混乱した。出土品が多くびっくりしました。
- ・昔の人はいろいろなくふうで、いきのびていったことが分かりました。
- ・わかりやすく、たくさんの知識を吸収できた。
- ・標準的発掘調査報告書の内容に近くてよかったです。
- ・土器、石器、土偶など、当時の社会を考える上で重要な要素が簡潔にまとめられていて、わかりやすかった。
- ・古くから人が住んでいた事におどろき、その頃の様子を想像すると楽しい。
- ・文字が多すぎる。
- ・展示によって第四次調査の内容が網羅的に分かった。
- ・説明が親切。少し難しいが、変に省いていなくて良いです。

- ・実物がたくさんあり、よかったです。
- ・自分の住んでいる場所の歴史がわかったこと。県内では類例のない住居が見つかったこと。
- ・どんな遺跡からその遺物が出たのかわかりやすく、時代区分もわかりやすかった。

感想・自由記入欄

- ・出土した土器があり、それを見られるのは貴重だった。住居跡の説明は難しかった。発掘調査は大変だろうなと思った。
- ・勉強になりました。土器について興味が少しわきました。鎌ヶ谷について詳しく知りたくなりました。
- ・鎌ヶ谷市は遺跡だらけというので改めておどろきました。分布地図には現在の町名、主要建物設備を表示していただければ、より実感がわきます。
- ・この資料館全体が、小さいながらも非常に充実していてとても満足です。特に解説リーフレットの多さでいったら…市の歴史に誇りをもつ人たちがたくさんいらっしゃると感じました。
- ・非常に充実したパネルだった。有料でもよいので、パネルやキャプションをリーフレットにまとめてほしい。また、その際は、一般市民でもわかるように用語の解説がほしい。カメ、カン、ツボなどの分類、定義がわからなかった。
- ・貝ブロックの貝の種別、大きさの差の研究結果が気になります。
- ・縄文時代後期前半の集落で、柄鏡形住居をはじめまとまった資料が見られてよかった。時に筒形土偶の出土は興味深い。堀之内2式の集落が少ない千葉県で貴重な成果と思う。
- ・かまがやにどきがあるなんてびっくりした。
- ・学校の夏休みの課題の為に来たのですが、とても面白かったです。また来たいと思いました！！

- ・珍しい住居跡があり、写真、図よくわかった。
- ・現地説明会に行けなかったので、くわしく展示がされていて良かったです。
- ・たくさんの品をたっぷりと静かに見られてよかった。展示も見やすかった。

- ・一部字が読めないものがあつた。ほとんどの字にふりがなをふってほしい。楽しかったです！！
- ・4000年前の縄文人の生活をのぞけたような、感慨深く思いました。
- ・常設部の説明も実に親切でした。子どもたちにぜひ見に来てほしいです。
- ・多くの実物の展示でわかりやすいとともに、より詳しく、理解を深めたい人にも満足できる内容だったと思います。
- ・鎌ヶ谷にこんな歴史があつて、遺物もたくさん出土していることを多くの人知らないままだと思います。自分が小さい時に遊んでいた場所が城跡だったことを知るなど、もっと早く知る機会があれば、と思うことがありました。より多くの方に知って頂くために、もっと来館してほしい気持ちです。
- ・縄文土器がたくさんならんでいたのも、一つ一つに型式がついていると、わかりやすいのではと思いました。
- ・10年前位に父が一本松遺跡の場所で畑で野菜等を作っていたので、とても不思議です。畑の下に遺跡があつた事など知らないでいました。
- ・通りがかりに初めて訪れましたが館内も展示品もキレイに管理されていてとても良い印象を受けました。また機会を見つけて来てみたいと思います。ありがとうございました！

4 第26回ミニ展示

【商いの記録と記憶 in鎌ケ谷

～近世から近・現代へ～

場所：郷土資料館 1・2階展示室

期間：令和5年3月18日～5月28日

(56日間 590名入場)



展示内容

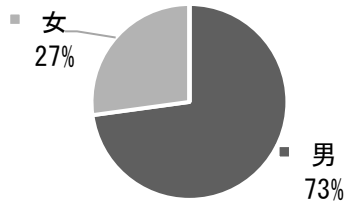
- (1) 鎌ケ谷宿の記憶～幕末から明治初年～
- (2) 明治・大正・昭和戦前の商い
- (3) 太平洋戦争前後の商い
- (4) 高度経済成長前後の商業の発展
- (5) お店の見える昭和の風景

主として、江戸時代末から昭和末年ころまで市域で展開した「商い」に関わる歴史資料と物資料および店や商店街を撮影した写真などを展示し、市域における商行為の歴史の変遷をたどることを目的としました。



アンケート結果

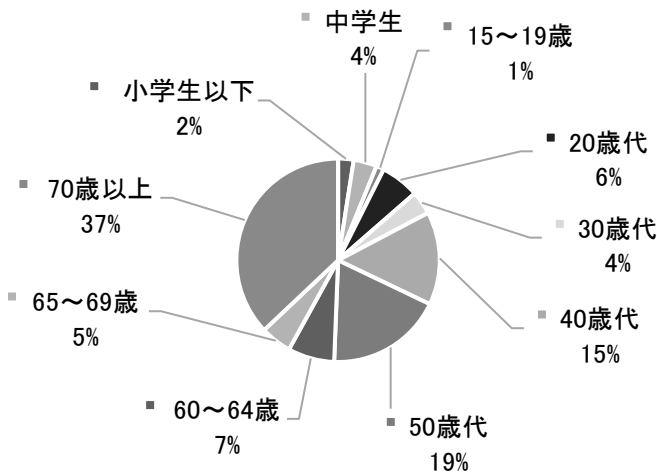
Q1 ご性別



選択肢	回答数
男	59
女	22
その他	0
無回答	0
計	81

複数回答者 1名

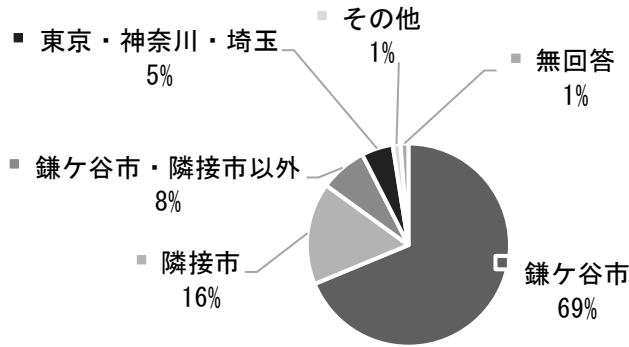
Q2 ご年齢



選択肢	回答数
小学生以下	2
中学生	3
15～19歳	1
20歳代	5
30歳代	3
40歳代	12
50歳代	15
60～64歳	6
65～69歳	4
70歳以上	30
無回答	0
計	81

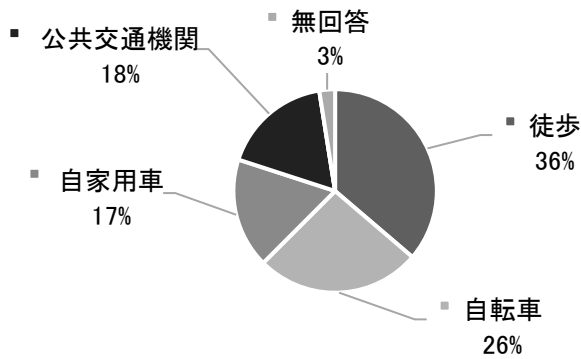
複数回答者 1名

Q3 お住まい



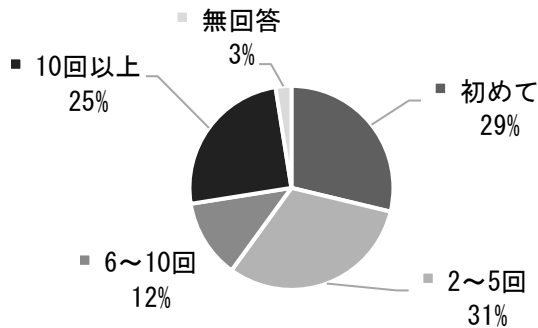
選択肢	回答数
鎌ヶ谷市内	55
隣接市	13
千葉県内	6
東京・神奈川・埼玉	4
その他	1
無回答	1
計	80

Q4 来館方法



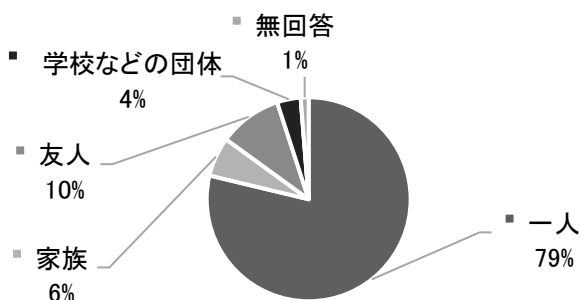
選択肢	回答数
徒歩	29
自転車	21
自家用車	14
公共交通機関	14
その他	0
無回答	2
計	80

Q5 来館回数



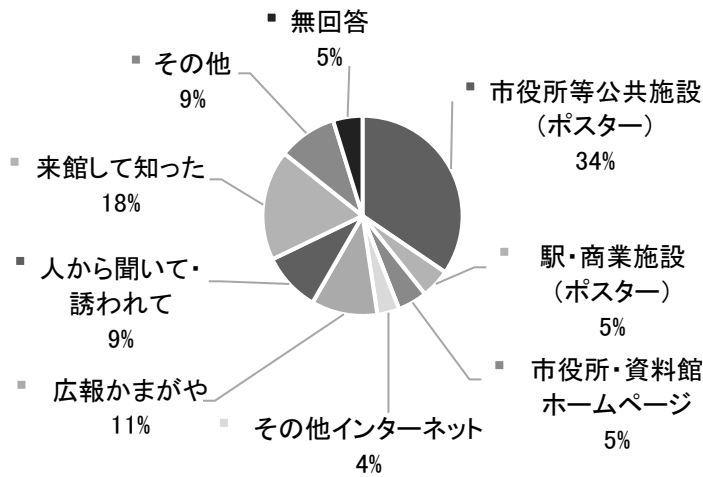
選択肢	回答数
初めて	23
2~5回くらい	25
6~10回くらい	10
10回以上	20
無回答	2
計	80

Q6 来館の同行者



選択肢	回答数
一人	63
家族	5
友人	8
学校などの団体	3
その他	0
無回答	1
計	80

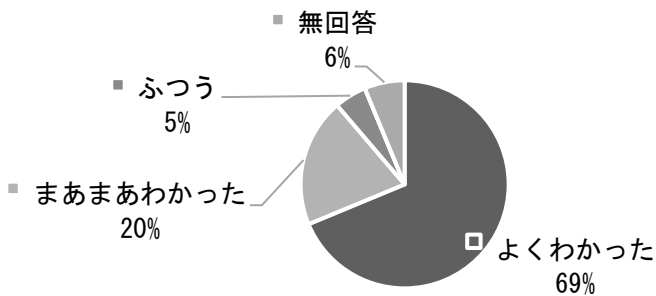
Q7 展示を知った方法



選択肢	回答数
市役所等公共施設 (ポスター等)	29
駅・商業施設 (ポスター等)	4
市役所・資料館ホームページ	4
鎌ヶ谷市 Twitter (X)	0
その他インターネット	3
広報かまがや	9
Ciao など情報誌	0
人から聞いて・誘われて	8
来館して知った	15
その他	8
無回答	4
計	84

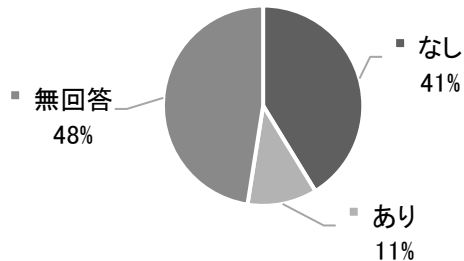
複数回答者 3 名

Q8 展示のわかりやすさ



選択肢	回答数
よくわかった	29
まあまあわかった	21
ふつう	14
やや難しかった	14
難しかった	0
無回答	2
計	80

Q9 詳しい説明が欲しい資料



選択肢	回答数
なし	33
あり	9
無回答	38
計	80

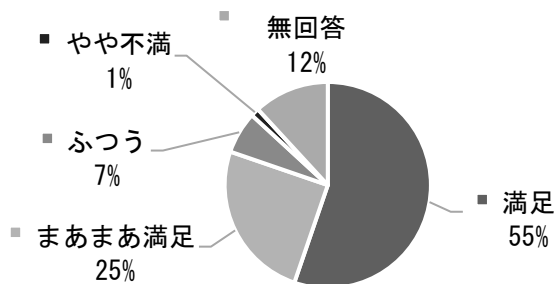
自由記入欄

- ・ 広告チラシ：一枚一枚がもう少し見られたら良かった。
- ・ 昔の写真：現在の写真と並んでいると場所がわかりやすい (以前そのような展示があったような...)
- ・ 商店街の様子：もっと近年の栄えていた頃の商店街が知りたい。
- ・ 初富豆腐店：とても良い写真です。多分早朝だと思いますが、湯気の中働くシルエットの店員さんがいいです。カラー化した物を見たいです。
- ・ 戦時中の資料
- ・ お店が見える昭和の風景：昔の写真のお店はすごくおどろいた。
- ・ 昔の写真が今のどこかわかりにくいのがあったので、地図等あると良いと思いました。
- ・ 八千代デパート：どの様な商品を扱っていたのか。
- ・ 写真に写っている当時の人々の暮らしぶりがもう少し分かれば面白いですね。例えば、物価・食事内容・生活様式...
- ・ 昔の写真：写真が撮られた場所の地図が掲載されていたらよかったかと。

Q10 一番印象に残ったもの、気になった資料

写真類(3)／鎌ヶ谷郵便局関係(5)／レジスター(2)／私の世代のカンコー学生服ののぼり早見優、香坂みゆきのCMよく覚えていた／地図／階段途中の写真パネルのくぬぎ山駅前／鎌ヶ谷市民夏まつりでの露天商(昭和58年〈1983〉)／そろばん(3)／S30年代の写真／鎌ヶ谷商店街の昔の写真(4)／階段の昔の写真、昔の広告／鎌小通り、かなりや(おもちゃ屋)、中島時計店／佐津間十字路のガソリンスタンド付近／丸屋関連、郵便路線図／鎌ヶ谷村旅籠屋渡世人請書(明治6年)／学生服模型／鎌／チラシ・大福帳／昭和のチラシ／八千代百貨店! 知らなかったー!!／酒造株譲渡証文／カンコー学生服のぼり(3)／欄間 石川雲蝶を思い起こしました・・・すごい!!／鎌ヶ谷に宿泊所が七けんも有ったとは知らなかった。／鎌ヶ谷町南初富・粟野・佐津間・軽井沢明細図／全て! ステキな展示ありがとうございます!／鎌ヶ谷市にもデパートがあったことです!／印半てんは、もう少し手前に配置し、背中側を直接のぞきこんで見られるように展示した方がよいのでは。／タバコ「鵬翼」について、替えうたの説明で「50銭」とあったが、展示物は「平時9銭」とあった。「平時」というのが気になり、もしかして展示物のもう一行左に何か書いてあるかと思ったものの、折れていて判読できず、残念。／鎌ヶ谷に在任時代とちょうどかさなり、なつかしく思った。

Q11 企画展の満足度



選択肢	回答数
満足	49
まあまあ満足	14
ふつう	4
やや不満	0
不満	0
無回答	13
計	80

自由記入欄(満足度の理由等)

- ・祖父母の経営していた店の写真を見られて満足です。
- ・実物がたくさんありとても見ごたえがありました。
- ・多数の資料を保存していたお宅があったことに感謝の思いです。
- ・鎌ヶ谷周辺の昔の事情が知れた。
- ・個人所有の資料をよく捨てずに保管していると感心する。
- ・とてもなつかしかった。
- ・そろばんがたくさんあったので
- ・商店史ともいべきもので、具体的で有効!
- ・鎌ヶ谷の商業の実態が良く分かる展示で面白かった。
- ・詳細に調べ、流れがよくわかる。
- ・今まで私がかかえていた疑問が解決できました。とても、おもしろかったです。
- ・すごく昔の物から、私たちに身近なものもあって、昔のことをよく知れたし、おもしろかったです。
- ・昔の鎌ヶ谷の様子がわかった。
- ・素晴らしかったです!! 感動しました!! 周りの人にオススメします!
- ・子供時代にタイムスリップできたようで、非常に満足しました。
- ・かつての商いが伝わってきました。
- ・素晴らしい写真の数に、感動しました!
- ・写真の説明が詳しかった。

感想・自由記入欄

- ・商いの記録と記憶の展示はユニークな企画であり、大変楽しめました。貴資料館の展示は、旧石器時代から現代まで切れ目がなく、大変充実していると思います。今回の展示について、それぞれの現在の状態の写真が添えられてあれば、比較ができてさらに興味深かったと思います。（個人情報などの面などから難しかったのかもしれませんが）
- ・説明文が長くて全て読みきれなかった。いつか冊子になったときにはじっくり読みたいです。
- ・最近減りつつある個人による出店が行われている店を多く知ることが出来て楽しかった。
- ・各々の写真が地図上に番号でマッピングされているとより良い。又、撮影している方向もあると楽しい。
- ・現在の写真をいくつか比較展示すれば、印象が深まると思います。
- ・このような展示は御苦勞も多いと思います。昔をしのぶことができました。ありがとうございました。
- ・昭和40年代に鎌ヶ谷に入った。大仏周辺しか記憶がなく、市域の様子が分かり、良かった。
- ・また次の展示も期待したい。
- ・全館でこんなに充実しているとは思わず、時間が足りず、資料をみってから再度来ます。
- ・様々な事が、具体的で、すごくおもしろくて、分かりやすかったです。また、来ようと思いました。
- ・社会が苦手な私でもすごく分かりやすかったです。おもしろかったです！！
- ・東京に生れ育った私にとって、東京のそばに自然、田舎の地域が有り、うれしかった。今は市内に住むが、緑はなくさないでほしい。
- ・今後も企画展示楽しみにしています。可能なら昔の鎌ヶ谷の写真や地図・資料をインターネットで公開して欲しいです。写真提供依頼等もTwitterやインターネットでやると良いかもしれませんね。
- ・もっとじっくり見たいので、ぜひ市ホームページでも公開してください！！
- ・鎌ヶ谷に20年以上ずっと住んでいるが、昔の風景を知れてよかった。
- ・建替予定の古い家、倉庫などから写真・お宝を寄付してもらおう事を公報・ネットに載せては？
- ・とても興味をもって見ることができました。ありがとうございました。

5 令和4年度新資料展示

【新発見！鎌ヶ谷のたからもの
～あたりまえの日常って、なんだっけ？～】

場所：郷土資料館 1・2階展示室

期間：令和4年10月22日～令和5年1月29日

(78日間 710名入場)



令和3年度に寄贈された歴史・民俗資料と、新たに発掘した埋蔵文化財をご紹介します。

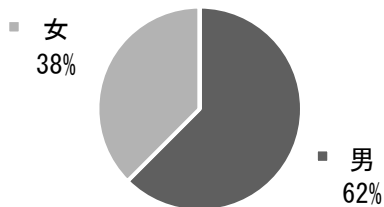


展示内容

- ① コロナ・日常の喪失
- ② 戦争の記憶
- ③ 祈りのかたち
- ④ 基地とくらす
- ⑤ 学びの場
- ⑥ ふつう時々ハレ
- ⑦ 私たちが守りたいもの
私たちが守りたいもの（番外編）

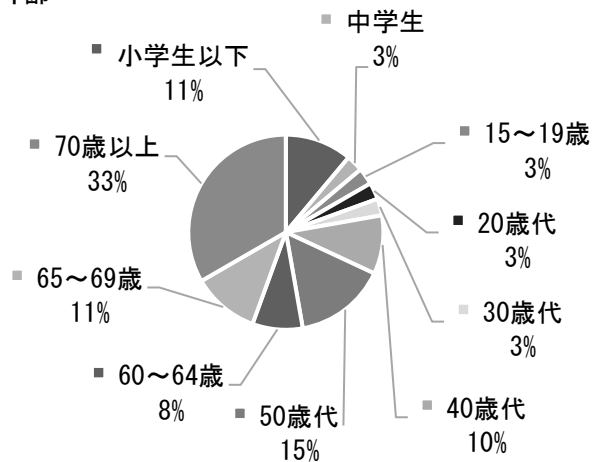
アンケート結果

Q1 ご性別



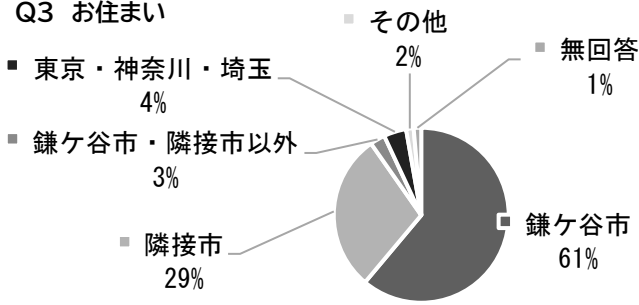
選択肢	回答数
男	45
女	27
その他	0
無回答	0
計	72

Q2 ご年齢



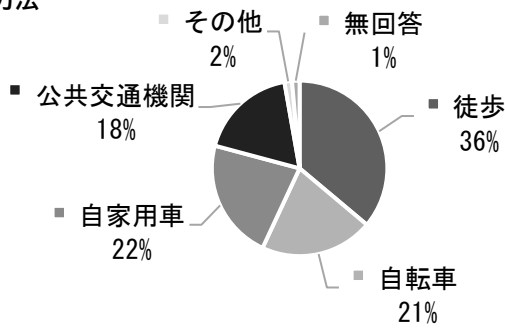
選択肢	回答数
小学生以下	8
中学生	2
15～19歳	2
20歳代	2
30歳代	2
40歳代	7
50歳代	11
60～64歳	6
65～69歳	8
70歳以上	24
無回答	0
計	72

Q3 お住まい



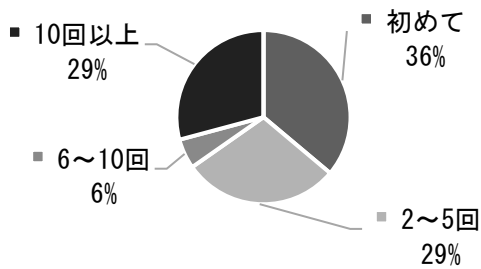
選択肢	回答数
鎌ケ谷市内	44
隣接市	21
千葉県内	2
東京・神奈川・埼玉	3
その他	1
無回答	1
計	72

Q4 来館方法



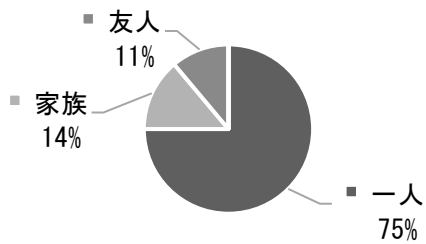
選択肢	回答数
徒歩	26
自転車	15
自家用車	16
公共交通機関	13
その他	1
無回答	1
計	72

Q5 来館回数



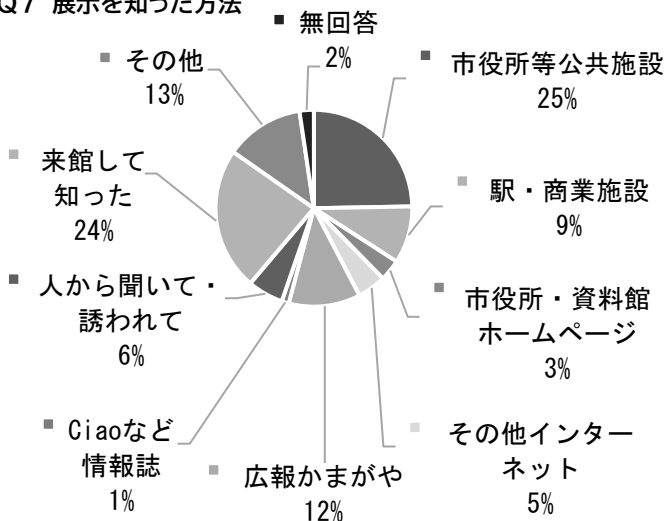
選択肢	回答数
初めて	26
2~5回くらい	21
6~10回くらい	4
10回以上	21
無回答	0
計	72

Q6 来館の同行者



選択肢	回答数
一人	54
家族	10
友人	8
学校などの団体	0
その他	0
無回答	0
計	72

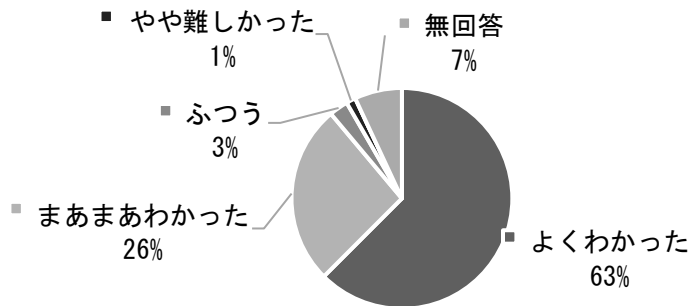
Q7 展示を知った方法



選択肢	回答数
市役所等公共施設 (ポスター等)	21
駅・商業施設 (ポスター等)	8
市役所・資料館ホームページ	3
鎌ケ谷市 Twitter (X)	0
その他インターネット	4
広報かまがや	10
Ciao など情報誌	1
人から聞いて・誘われて	5
来館して知った	20
その他	11
無回答	2
計	85

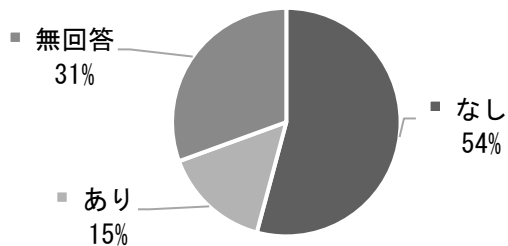
複数回答者 13 名

Q8 展示のわかりやすさ



選択肢	回答数
よくわかった	45
まあまあわかった	19
ふつう	2
やや難しかった	1
難しかった	0
無回答	5
計	72

Q9 詳しい説明が欲しい資料



選択肢	回答数
なし	39
あり	11
無回答	22
計	72

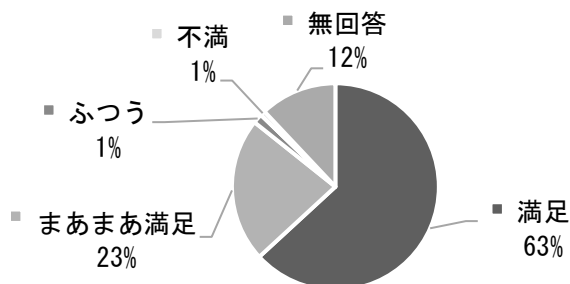
自由記入欄

- ・基地とくらす：かつてこのような住民反対運動があったのですね。
- ・飛行帽など：着用者がどんな方だったかわからない。
- ・コロナ・日常の喪失：市民まつり中止のポスター
- ・廊下写真の年代
- ・明治時代の開拓、等
- ・市民プール：プールの設置が下総基地の汚水の点
- ・写真
- ・御用留断簡：簡単に読める様
- ・飛行帽：戦争がどんな形で鎌ヶ谷をつくったか。
- ・子安講掛軸：どういう経緯で鎌ヶ谷に来たのか、もっと知りたかった。

Q10 一番印象に残ったもの、気になった資料

基地とくらす／庚申塚の取り壊し／軍服(5)／ポータブルタイプライター (3) ／下総基地の写真、当時の集会等を思い出した。／オルガン (2) ／ふつう時々ハレ／下総考古学会／市内の発掘調査／戦争の記憶／オルガン、着物、軍服、軍帽(軍服・軍帽は) 実際のものを見ると、心にズッシリきました。／記念スタンプ／学校プールが設置されていた資料／映画会のチラシ、R3年でなくなったのは残念／自然と文化財を守る会の事業／NLP(夜間離着陸訓練) 反対／平和記念東京博覧会鳥瞰図／飛行帽と軍服／凱旋の記念／子安講掛軸／古い日用品

Q11 企画展の満足度



選択肢	回答数
満足	40
まあまあ満足	18
ふつう	5
やや不満	0
不満	0
無回答	9
計	72

自由記入欄(満足度の理由等)

- ・本物のものがたくさんあったから。
- ・自分が今まで住んでいた時のものが、1つの「文化財」(たから)となるとは。でも、市民の生きてきたことが大事な「たから」となっていることは、感慨ぶかいものがあります。これからも市民の動きの様子を展示して、今の市民に伝えていければと思います。
- ・人の生活についてのことが好きなので、また見たい。もっと展示があると良いです。
- ・軍服、飛行帽等、2度と戦争がない事を願いながら見ました。
- ・無料なので、期待が少なかった。その割に充実している。
- ・近隣に住んでいるので親近感がある。
- ・身近の大切な歴史を感じることができた。
- ・和紙はり合わせのふろしき
- ・むかしの古い物などを知れてよかったです。
- ・飛行帽が見られてよかったです。
- ・こまかな説明文がうれしかった。

感想・自由記入欄

- ・市民の方々が、大切に保管していて下さったおかげで、昔のくらしや、歴史など、知ることができると、未来の子どもたちにも残していけると、改めて感じます。
- ・各時代の人々のくらしが目で見えて感じられた。自分の使用していたタイプライターと教本があり、なつかしかったです。
- ・千葉・東京・埼玉の資料館に足を運んできましたが、当館はとても分かり易くて大変勉強になりました。
- ・前にもきたことがあって、その時は歴史を知らなかったからよく分からなかったけど、今は、少しわかるからおもしろかった。昔の人たちがついていたものを直接みられてたのしかった。もっと歴史についてくわしくなったときにもう1回きてみたいです。
- ・静かで、コロナ対策バッチリで良かったです！
- ・鎌ヶ谷写真クラブの写真パネルが、良かった。鎌ヶ谷に住んで25年ですが、知らない鎌ヶ谷を知ることができました。
- ・市制記念公園内野球場で盆踊りが行われていたのは、そのイベントが何故無くなってしまったのか、残念極まりない！！
- ・説明がいっぱいかいてあってわかりやすかった！
- ・保存活動、地道なご努力有難うございます。一階の展示物の多さにはおどろきました。
- ・土曜の午後のひとときを一人でゆっくりと閲覧することが出来ました。展示物の配置等見易く、勉強になりました。有難うございました。
- ・とても、わかりやすくて楽しかったです。ありがとうございました。また来ます。
- ・楽しく拝見させていただきました。発掘の写真等わかり易く勉強させていただきました。軍服、打掛のサイズを見て、この時代の方は小柄であったと知識としては知っていましたが、再認識致しました。たくさんの遺跡等の維持管理に御苦労も多々あると思います。鎌ヶ谷市の資料館として後世に伝承出来る様、宜しくお願い致します。ありがとうございました。
- ・鎌ヶ谷にこんなに歴史的なものがあるとは知らなかった。

6 教育普及活動

【縄文人の生活ウォッチング】

大昔に鎌ヶ谷の地で生きた縄文人の生活を、遺跡から出土した実際の土器を見たり、ふれたり、また火おこしなどの体験をとおして学びました。

講師：当館職員・ボランティア

場所：図書館・資料館

- ・縄文土器にふれる
- ・火起こし
- ・一本松遺跡展の見学

〈7月30日〉（9名）



参加者の感想(一部編集・抜粋)

- ・ひおこしはたいへんでした！あなからはずれてしまうこともあったからです。わたしは「きりもみ式」「弓きり式」をやりたいです。
- ・じょうもんじだいの人は（ひおこしをやって）すごく力があるなと思いました。
- ・土器はぎもんに思うことができました！もようではなく、もじをかいてあるのはないのかな？と思いました。
- ・いろいろな大きさの土器や家があった。土器のもようがまっすぐな線だったり、ギザギザの線なみなみだったり、いろいろな道具を使って線をつけていておもしろかった。（縄でつけた線以外にもたくさんあった。）
- ・ひおこしがこんなにたいへんだったなんてしらなかった。縄文時代のひとがどれぐらいたいへんかわかった。
- ・火おこしは、けむりまではなんどもでたけどそのときには、板がもうあながあいていたので火ばなはでなかったです。
- ・どきは、いろいろなもようのつけかたやもようがあっておもしろかったです。ふちをどうやってつくっているのかぎもんにおもいました。いろいろなたいけんがきょうできてよかったとおもいました。
- ・この時代いの生活がたいへんだなと思った。火は、どうぐをつかうから少しかんたんだったけど、すごくむずかしかったです。
- ・とてもたのしくて、またきたくなりました。とくに、火おこしがたのしかかったです。
- ・火おこしはたのしかかったけれど、すこしつかれた。
- ・縄文土器には、様々なもようがあり、土器の形も色々あることが分かった。火を起こすのが大変だった。また、そうであるからこそ、縄文時代などの人たちは、火を大切にしたと思う。縄文時代の家の一つを、「柄鏡形住居」とよぶのが面白いと思った。縄文土器にくらべて、古墳時代の土器は、なぜツルツルしているのか気になった。なぜ、縄文時代の人は、ハマグリをたくさん食べていたのか気になった。
- ・縄文時代について、全然知らなかったことが多かったので、色々なことを知れて良かったです。昔の人は、すてきながらの縄文土器を作ってすごいと思いました。
- ・火おこし体験は、火はつかないけど、こげくさかったり、けむりがでたりして、とても達せい感を感じています。

【郷土資料館セミナー「房総の民俗」】

親から子、子から孫へと受け継がれてきた民俗が近年急速に失われつつあります。市域が属する千葉県下に現存、もしくは近年まで存続していた様々な民俗について5回シリーズで県内の研究者や学芸員による紹介を行い、「房総の民俗」についての知識や理解を深めるとともに、その保存と活用について考えました。

場所：すべて図書館本館3階会議室



①「東葛・印旛大師講～房総の八十八か所巡礼～」

講師：立野晃（当館学芸員）

〈12月11日〉（36名）

②「関東のオビシヤ～下総を中心に～」

講師：榎美香氏（千葉県中央博物館大利根分館主任上席研究員）

〈12月25日〉（27名）

③「経済更生計画に書かれた生活改善事項～東葛地域更正指定町村を中心に～」

講師：和田健氏（千葉大学大学院国際学術研究院教授）

〈1月8日〉（28名）

④「房総の鍛冶屋～幕末からの動き～」

講師：芝崎浩平氏（市原市歴史博物館学芸員）

〈1月13日〉（25名）

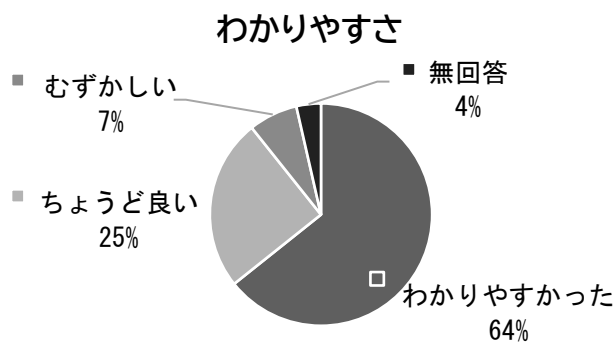
⑤「千葉のおばちゃん～東京向け野菜行商の歴史～」

講師：小林裕美氏（千葉県立中央博物館自然史・歴史研究部歴史学研究所長）

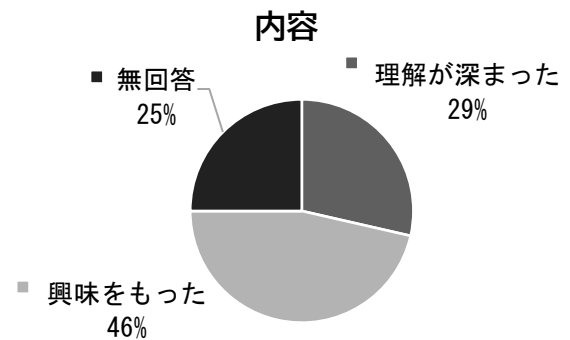
〈1月20日〉（25名）

参加者の感想

①「東葛・印旛大師講～房総の八十八か所巡礼～」

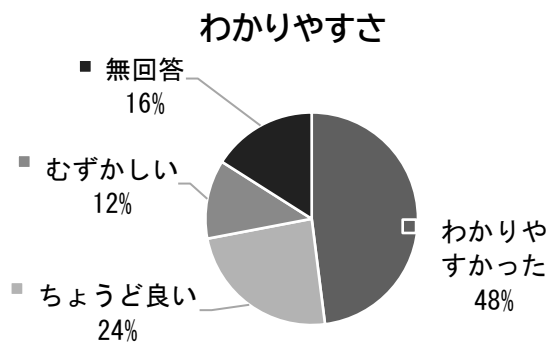


- ・ 大師講そのものの存在は知っていたが、細かいことは分からなかった。
- ・ 画像での説明が良かった。
- ・ 資料も豊富で、よく理解できた。
- ・ 生まれ育った鎌ヶ谷に古くからの行事が残っており、次の世代に続くよう願う。知らなかった

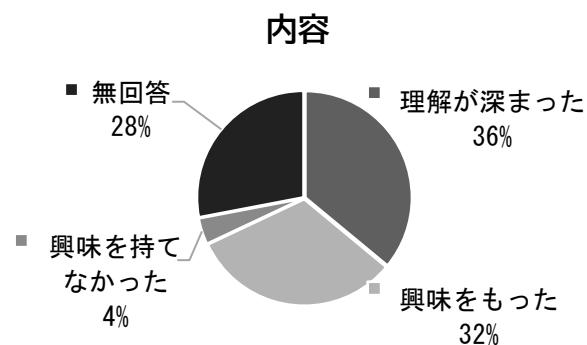


- 民俗・行事にいにしえの人々の生活が伝えられている。
- ・ 5回ほど大師講参加しましたが、不思議なところもあり、今回わかったこと多し。
- ・ 誰がいつ頃始めたかなどわかった。

②「関東のおびしゃ～下総を中心に～」

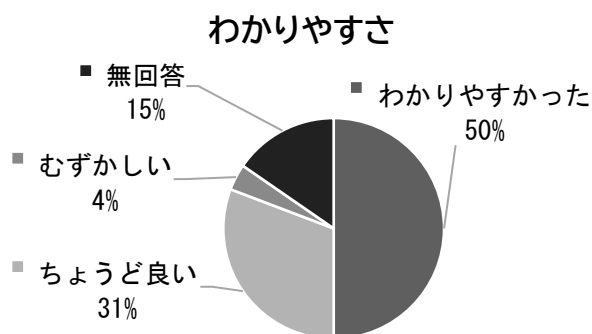


- ・房総の村でおびしゃの文字をみて、何の事か、と思っていた。最近、佐倉五良神社参詣のおり、今もおびしゃが続いていると知った。
- ・おびしゃという名称は知っていたが内容不明であったため出席し、良く分かった。弓を射る事とは知らなかった。
- ・古文書の写真が資料にあり、お話の根拠がとてもわかりやすかったです。非常に参考になり、ありがとうございました。

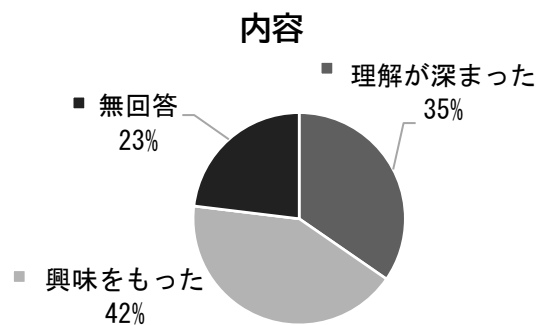


- ・地域で行われた行事に対する知識を得た。
- ・おびしゃに対する疑問が解決した。
- ・現代では失われてきた民俗のあり様が、認識することができた。
- ・初めて聴く話で楽しかった。
- ・地域に残る昔からの行事など、普段、街なかで経験できないことが多いので、講座で内容を知り、大変興味深く思いました。
- ・なじみがないので、難しかった。

③「経済更生計画に書かれた生活改善事項～東葛地域更正指定町村を中心に～」

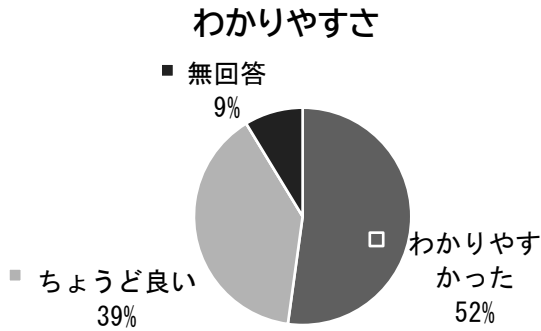


- ・民俗学の我々の人間社会における役割も改めて再認識できた。
- ・表題が硬いのでどうか不安だったが近代の民俗関連ということで参考になった。
- ・昭和初期の経済更生計画という中に生活改善が含まれていたことを初めて知りました。時代の変化を感じました。ありがとうございました。
- ・戦前の旧家の関与が細部にまで及んでいたのを実感した。

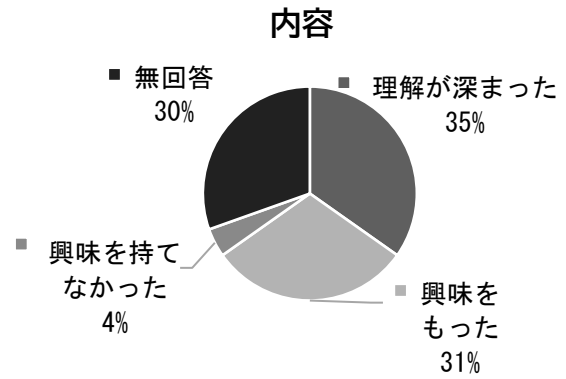


- ・当時の生活、風習等が理解できた。どのように更生・改善していったのか興味がわいた。
- ・中・高の日本史授業ではおおまかな内容であったが、経済更生計画の詳細・ねらい、戦時体制との関連等、興味深い内容であった。
- ・是非、鎌ヶ谷の史料をひもといて得た結果を披露していただければと思う。2時間では足りなかったと思う。

④「房総の鍛冶屋～幕末からの動き～」

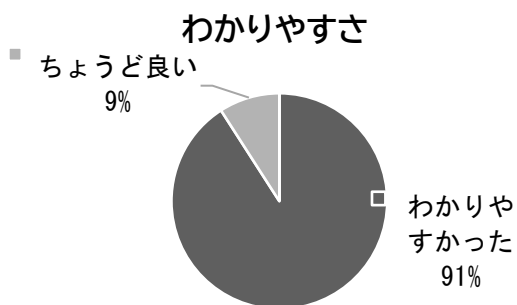


- ・鉄という身近な題材であった。
- ・初めて聴く話だった。たたらは山陰とばかり思っていた。
- ・千葉県内発祥から伝統的に伝わってきていたことがよくわかった。生産の立位置から使用の農具の盛んな時代、工業的見地からの一端であること。よく調査してありました。参考になりました。
- ・民具の刃作りが身近であったことに気づけてよかったです。ありがとうございました。
- ・これまで千葉県と鍛冶屋は結びつかなかった。しいて言えば牧一馬の蹄鉄かと思っていた。

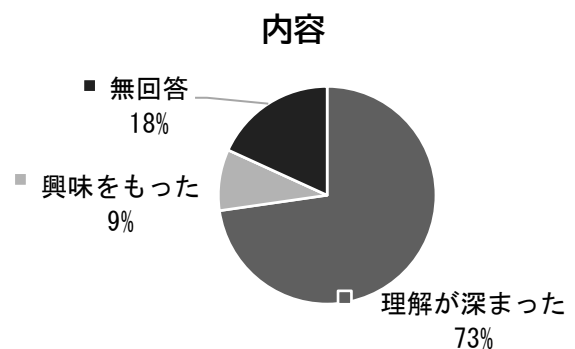


- ・わがが受け継がれていて、もとの専門性が活かされた特徴が出るというのがすばらしいし、外国の方もわざわざ、日本に買いに来る人がいるので、日本刀の力はすごいと思いました。
- ・ありがとうございました。テーマ自体が若干地味と感じました。伝統的工芸の伝承はとても大切・大変だと思います。
- ・千葉県沿岸が砂鉄の産地であることに驚き。
- ・鍛冶屋の歴史という技術系の歴史講座でいつもとは違う感じで楽しかったです。ありがとうございました。

⑤「千葉のおばちゃん～東京向け野菜行商の歴史～」



- ・京成電車で良く見た。常磐線でもよく見た。
- ・蒲田に住んでいておばちゃんが来ていた（昭和30年代）。
- ・京成線（千葉⇄船橋間）でS45頃よく見かけた。
- ・通勤電車の中に専用車両もあり、時間外は私共と一緒に車両に乗車していた。勤務先の御徒



- 町・神田の駅前に店頭販売していた。よく買っていた。
- ・東京にいた当時、行商のおばちゃんに会った事がある。
- ・常磐線（成田線）京成線をよくみていましたよ!!専用列車、ホームも知っているよ。

【歴史講演会 I「ふすまの下張りに隠されていた地域の歴史」】

場所：まなびいプラザ研修室 I

講師：神山知徳氏（昭和学院中学校・高等学校教諭）

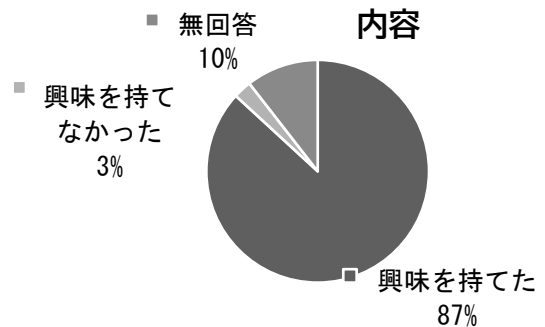
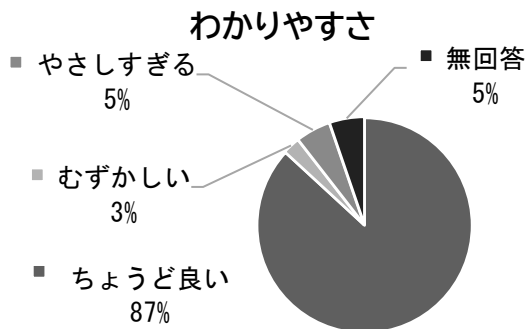
〈10月30日〉（40名）

近世～近代の日本では、ふすまを作成する時の下張りに、文書の反故紙を使用することがありました。当時の人たちは反故となった文書を不用なものと考えたのですが、現在の私たちにとっては、近世から近代にかけての歴史を知る上でかけがえのない史料となることがあります。

市域を含め多くのふすまの下張りから出てきた古文書に関わった第一人者と、貴重な史料の復元事例をもとに隠されていた歴史を紐解きました。



参加者の感想



- ・実際には襖の下張りを見たことがないのですが昔のままの襖が使用されている家が存在していることに感動します。
- ・襖の下張りからいろいろなことが読み取れることを気づいたことは、すごい発見だと思いました。
- ・下張りに何か書かれているか具体的事例の話が興味深かった。
- ・下張りという視点が興味をそそられた。地域の歴史という視点に、もともと関心がある。
- ・襖の下張りをどのようにはがして古文書を解説するか知りたかったので有意義でした。
- ・古文書を勉強中なので、原資料の収集方法の1つとして興味深かった。
- ・襖のある家（障子のある家も）今は、へっています。庶民の家に襖、障子が作られるようにな

- ったのか等襖・障子の歴史を学びたいです。和紙の再生を願う。
- ・大切な資料として認識されることなく失われたものがたくさんあると思います。個人のお宅に眠っているものにも貴重なものがたくさんあるかもしれない、多くの人に知ってほしいと思います。
- ・おばあちゃん家の昔の古い家にもあったのかなー、と思った。
- ・下張りに使用された反故紙の内容にハラハラドキドキする。期待されたものがあるとの認識。
- ・遺跡の調査などのやり方も知りたいと思います。
- ・下張りの重要性をわかりやすく説明していただき、おもしろかったです。
- ・フスマに隠された、鎌ヶ谷の歴史の新しい発見、情報をもっと知りたい。

【歴史講演会Ⅱ「幕末・明治初期の鎌ケ谷地域の経済活動～鎌ケ谷宿の商いを中心に～」】

場所：まなびいプラザ研修室Ⅰ

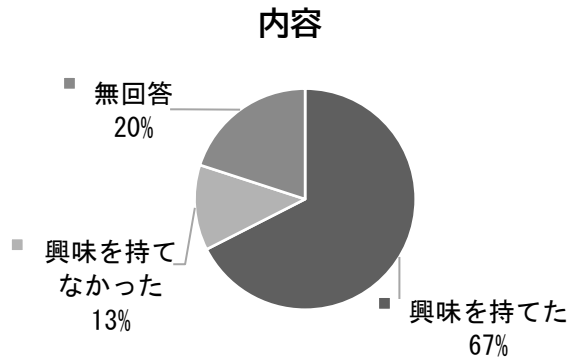
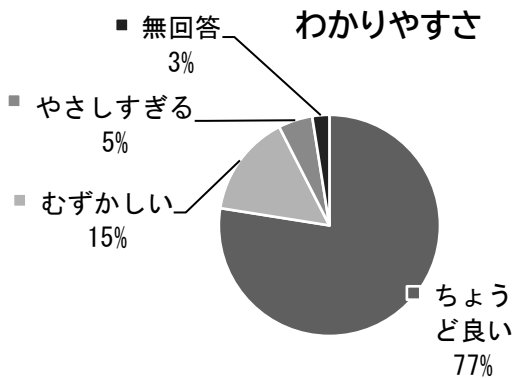
講師：渡辺嘉之氏

(地方史研究協議会元常任委員長、元鎌ケ谷市史編さん事業団近・現代部会員)
 〈3月19日〉(46名)

江戸時代半ばから明治時代初期にかけて、木下街道の宿場として栄えた鎌ケ谷宿では、酒造や様々な商いが行われていました。『鎌ケ谷市史』下巻でこの内容の調査・研究・執筆を担当された元市史編さん事業団員の方に、当時の歴史資料を駆使して、その一端をお話いただきました。



参加者の感想



- ・ 徳田家の経済活動の様子が面白かった。
- ・ 鎌ケ谷の明治初期の経済活動が理解できた。
- ・ 鎌ケ谷宿の衰退状況が分かった。
- ・ 木下街道沿いの鎌ケ谷宿が具体的にどのあたりか地図があるとわかりやすい。
- ・ 明治期になっての交通手段の変遷により、宿としての機能が衰退したのが理解できた。
- ・ 鎌ケ谷市の経済活動において、このような歴史があったのかと思った。鎌ケ谷に限らず、江戸時代以降は、いろいろと資料が残っているということなので、庶民の暮らしについての歴史を知りたいと考えている。(制度や制度の変更等に応じて)
- ・ 宿としての機能がどの程度であったのか？通行量等の資料があれば…。

- ・ 鎌ケ谷の豊かな産業(酒造り、販売)すごいと思った。徳田家の活動、細かくわかってとても良かった。ありがとうございました。
- ・ 鎌ケ谷の幕末の経済活動が盛んだったことがわかり、おもしろかったです。
- ・ 外国米を仕入れていたとは驚き。もっと詳しく知りたいと思う。
- ・ 幕末の頃、経済活動の盛んな時期があったことがわかり、興味深かった。
- ・ ベトナム米、漱石の「抗夫」の話はおどろいた。庶民は米を食べていなかったことも改めて認識。炭・薪の商売の話もくわしくききたかった。(仕入れ?)
- ・ はじまる前に資料に目を通した時、思ったよりずっと面白かったです。資料の分析の一端に触れることができました。ありがとうございました。

【自然観察会「春の自然観察会 ～早春の大津川沿いを歩こう～」】

場所：北部公民館～大津川

講師：唐沢孝一氏（NPO 法人自然観察大学学長）

〈3月4日〉（21名）

大津川沿いを散策しながら、野鳥や植物を観察し、早春の自然と触れ合いました。



7 学芸員講師派遣

月 日	派 遣 先	内 容	場 所	受講者数
5月19日	南部公民館	シルバーセミナー「鎌ケ谷の歴史」	南部公民館大集会室	40
5月31日	北部公民館	シルバーカレッジ「鎌ケ谷市の歴史と文化財（北部公民館周辺）」	北部公民館1階集会室	31
6月23日	市立西部小学校	6年生社会科 「鎌ケ谷のあゆみで見る日本のあゆみ～大昔の鎌ケ谷の暮らしをのぞいてみよう～」	西部小学校特別教室	99
7月25日	東初富公民館	いきいき倶楽部第3回 歴史・文化講座 「鎌ケ谷の歴史～江戸時代の市域～」	東初富公民館 ふれあいホール	36
9月8日	北部公民館	北部タウンセミナー 「鎌ケ谷の歴史（昭和の鎌ケ谷）」	北部公民館集会室	30
10月2日	鎌ケ谷市語り部協会	語り部養成講座「鎌ケ谷の歴史を語り継ごう」 第1回「木下街道と鎌ケ谷宿」	まなびいプラザ研修室1	20
10月12日	市立北部小学校	5年生総合学習 「鎌ケ谷の農業 今・むかし」	北部小学校体育館	50
10月20日	東部学習センター	東部市民セミナー 「鎌ケ谷の歴史（牧から初富開墾へ）」	東部学習センターレインボーホール	56
11月6日	鎌ケ谷市語り部協会	鎌ケ谷市の歴史 「国史跡小金中野牧跡見学」	野外（国史跡「下総小金中野牧跡」）	20
11月9日	東部学習センター	東部シニア倶楽部市内散策 「国史跡下総小金中野牧跡・捕込等を学ぶ」	野外（国史跡「下総小金中野牧跡」）	25
12月1日	市立北部小学校	6年生キャリア教育 「学芸員の仕事について」	北部小学校体育館	17
1月14日	中央公民館	鎌ケ谷市の歴史と文化財入門講座 「鎌ケ谷市の歴史を学ぼう」	中央公民館集会室	49
2月17日	市立北部小学校	3年生社会科 「写真で見るちょっと昔の歴史」	北部小学校各教室	57
合 計				530

8 資料閲覧実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	1	5	1	1	3	4	1	3	1	3	2	27

9 収蔵資料の利用

期日・期間	資 料 名	利 用 者	利 用 内 容	種 類
4月1日～ 3月31日	林跡遺跡出土遺物	県立中央博物館	常設展（通年貸出）	展示
6月17日～ 3月31日	襖下張文書 （市内個人旧蔵文書）	昭和学院高等学校	学習クラブで史料整理	教材

6月21日	鎌ヶ谷市域関係洪水記録データ（歴史公文書、新聞記事）	市安全対策課	市域防災の資料	資料提供
6月依頼、10月発行	市域の古写真（中部小開校、戦後直後の木下街道、鎌ヶ谷監視哨）紙焼き	鎌ヶ谷稲門会	『鎌ヶ谷稲門会創立20周年記念誌』「かまがやの歴史コーナー」に掲載	掲載
7月7日～11月4日	根郷貝塚出土バンドウイルカ製腰飾及び画像データ	千葉県立中央博物館	令和4年度特別展「鯨」（7月16日～9月25日）で展示及び同展図録に掲載	展示掲載
7月18日	郷土資料館常設展示室	かまがや南初富演劇部	演劇「骨と記憶」において、常設展示室での一場面を収録、動画配信フォームで無料配信	収録
7月11日	東林跡遺跡出土ナイフ形石器画像データ	有限会社アート・エフ	駿台文庫『2023-駿台 共通テスト実践問題パックV 日本史B』（2022年9月11日発行）に掲載	掲載
9月15日～12月22日	淡水会第二回展覧会案内（渋谷家旧蔵文書）	船橋市教育委員会	令和4年度船橋市所蔵作品展「磯田長秋」（12月7～18日）で展示、及び同展図録等に掲載	展示掲載
11月4日	人車鉄道路線図、鎌ヶ谷周辺街道図画像データ	船橋市立法典小学校150周年記念事業実行委員会	150周年記念誌『法典』に掲載	掲載
10月14日	昭和46年鎌ヶ谷駅写真（広報移管市写真）画像データ	NHK千葉放送局	鉄道開通150年「NHK発！鉄道150年」関連企画	掲載
9月28日	鍬（風呂鍬・万能・唐鍬）、おしゃらく踊り、縄文土器集合写真画像データ	市教育委員会	『わたしたちの鎌ヶ谷』改訂版	掲載
1月	渋谷家旧蔵文書（宝城鉄道、八柱霊園関係史料）	神戸大学大学院生	修士論文「日本における公園墓地の成立経緯とその計画への欧米墓地の影響」	引用要約
3月11～3月12日	写真画像データ	千葉商科大学政策情報学部大矢野ゼミ	鎌ヶ谷プロモーションDay!!「鎌ヶ谷市郷土資料館古写真をAIでカラー化」	展示

10 市内 歴史・民俗資料調査

月 日	調 査 内 容	調 査 先	調 査 者
4月8日	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫現地調査および聞き取り調査	軽井沢字中山・落山ほか	学芸員2名、文化係職員2名、外部研究者1名ほか
4月13日	令和3年度末廃棄市公文書の選別	本庁地下書庫	学芸員2名
4月28日	民俗資料調査	南部小学校文化財保管室	学芸員1名

5月27日	安川家文書（第2次）整理	郷土資料館研究室1・3	学芸員4名、外部機関職員2名、外部研究者1名
6月12日	おしゃらく踊り	軽井沢公園	学芸員2名、文化係職員1名
6月27日	アンバ様行事調査	大宮神社（中佐津間）及び佐津間地区野外	学芸員2名
7月1日	安川家文書（第2次）整理	郷土資料館研究室1・3	学芸員4名、外部研究者1名、外部機関職員1名
8月19日	母屋内の歴史・民俗資料調査	澁谷家住宅の母屋	学芸員2名、実習生3名
10月23日	市内個人宅民具受納および聞き取り調査	軽井沢	学芸員1名、職員1名
10月23日	市内個人宅民具受納および資料・聞き取り調査	初富	学芸員1名、職員1名
11月5日	市内個人宅蔵2階のモノ資料調査	南鎌ヶ谷	学芸員1名
11月15日	市内個人宅蔵2階のモノ資料調査	鎌ヶ谷	学芸員2名
11月15日	おもちゃなどモノ資料の受納と聞き取り	東初富	学芸員2名
12月3日	聞き取り調査	初富	学芸員1名、職員1名
1月17日	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫測量調査	軽井沢字中山	学芸員2名、文化係職員3名、文化財審議会委員1名、外部研究者1名ほか
1月22日	個人宅蔵資料調査	南鎌ヶ谷	学芸員2名
1月24日	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫測量調査	軽井沢字中山	学芸員1名、文化係職員3名、市文化財審議会委員1名、外部研究者1名
1月27日	澁谷家母屋内歴史資料調査	澁谷家母屋	学芸員2名、文化係職員3名
2月3日	市内個人聞き取り調査	郷土資料館	学芸員1名
2月7日	故人所蔵軍刀	初富	学芸員1名、文化係職員1名
2月14日	商店来歴など聞き取り調査及び歴史資料借用、民俗資料受納	松戸市六実	学芸員2名
2月15日	商店来歴聞き取り調査	松戸市六実	学芸員1名
2月19日	市内個人宅所蔵資料	鎌ヶ谷	学芸員2名
2月26日	自然調査（自然観察会下見）	大津川（佐津間）	学芸員1名、外部講師1名
3月5日	金石資料（力石）調査	大津川（粟野）	学芸員1名、元市史編さん審議会委員1名
3月24日	歴史資料受納および聞き取り調査	南鎌ヶ谷	学芸員3名
3月29日	借用史料についての聞き取り調査	道野辺本町	学芸員1名、職員1名
3月30日	所蔵資料についての聞き取り調査	道野辺本町	学芸員1名

11 資料収集(寄贈・寄託資料)

No.	月日	種類	所蔵者	内容	点数	備考
1	4月7日	寄贈	個人	歴史資料	96	市指定文化財含む文書
2	6月4日	寄贈	個人	歴史資料	1	軍事郵便
3	6月15日	寄贈	個人	歴史・民俗資料	3	羽釜、蚊帳、鎌小校舎増築記念文鎮
4	6月27日	寄贈	佐津間大杉講	民俗資料	6	アンバ様用ハナマンドウ
5	6月28日	寄贈	個人	歴史資料	23	貨幣、古紙幣、プリペイドカード
6	7月15日	寄贈	個人	歴史資料	2	音声テープほか
7	7月21日	寄贈	個人	歴史・民俗資料	24,454	文書、護符
8	7月21日	寄託	個人	歴史資料	1	澁谷総司書簡
9	7月29日	寄贈	個人	民俗資料	9	皿、猪口、グラス
10	7月29日	寄贈	個人	歴史資料	1	平成9年市航空写真
11	8月27日	寄贈	個人	歴史資料	3	1972・1999鎌ヶ谷市住宅地図、197
12	9月15日	寄贈	個人	歴史資料	6	昭和50年頃の鎌小などの航空写真
13	10月21日	寄贈	個人	考古資料	1	中沢根郷採集石器等一式
14	10月28日	寄贈	個人	民俗資料	7	博多人形、簪、糸巻きなど
15	10月28日	寄贈	個人	民俗資料	1	棹秤(分銅とも)
16	10月28日	寄贈	個人	民俗資料	1	草取りなど
17	11月24日	寄贈	個人	民俗資料	15	農具(三角定規、篩など)
18	11月24日	寄贈	個人	歴史・民俗資料	14	おもちゃなど
19	12月8日	寄贈	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	歴史資料	202	他校周年記念誌など
20	12月8日	寄託	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	歴史資料	397	鎌ヶ谷高校文書〔フィルム、テープ、CD-ROM等を含む〕(開校、周年行事、学校行事関係)
21	2月10日	寄贈	個人	民俗資料	2	鍬・蓑
22	3月3日	寄贈	個人	民俗資料	12	東屋商店商品
23	3月29日	寄贈	個人	民俗資料	4	湯たんぼ、行火、クレヨンケース
合 計					24,863	

12 歴史・民俗資料等の整理状況

○市内・市外歴史資料群

(開校・周年事業・学校行事関係他) ※寄託

・〔初富〕個人所蔵文書	2,859点	・〔中佐津間〕個人旧蔵文書	33点
・〔白井市〕個人旧蔵文書	1点	・〔市川市〕個人旧蔵文書	3点
・〔中佐津間〕個人旧蔵音声資料	1点	・〔柏市〕個人旧蔵文書	7点
・鎌ヶ谷高等学校文書	397点	・〔南鎌ヶ谷〕個人所蔵文書	59点

・〔松戸市〕個人所蔵文書 15点

○民俗資料

- ・企画財政課企画政策室旧蔵資料 9点
- ・〔右京塚〕個人旧蔵資料 3点
- ・ボランティアセンター 1点
- ・〔中央〕個人旧蔵資料 7点
- ・〔中佐津間〕個人旧蔵資料 11点
- ・〔西道野辺〕個人旧蔵資料 9点
- ・〔東中沢〕個人旧蔵資料 8点
- ・〔初富〕個人旧蔵資料 1点
- ・〔東中沢〕個人旧蔵資料 1点
- ・〔軽井沢〕個人旧蔵資料 15点
- ・〔東初富〕個人旧蔵資料 14点
- ・〔西佐津間〕個人旧蔵資料 2点

○プリペイドカード

- ・〔東中沢〕個人旧蔵資料 4点

○スタンプ

- ・〔鎌ヶ谷〕個人旧蔵資料 2,509点
(4冊)

○古銭・古紙幣

- ・〔東中沢〕個人旧蔵資料 20点

○写真資料の収集（スキャニング）

- ・〔初富〕個人蔵写真 38カット
(紙焼27枚・絵葉書写真8枚分)
- ・〔柏市〕個人旧蔵写真 8カット
(アルバム1冊・紙焼6枚分)
- ・〔松戸市〕個人蔵写真 4カット
(紙焼2枚分)
- ・〔南鎌ヶ谷〕個人蔵写真 32カット
(アルバム1冊・紙焼23枚分)
- ・〔道野辺中央〕個人旧蔵写真 1点
(航空写真額装)

○歴史公文書の移管・整理

- 歴史公文書A（令和3年度末保存期限満了分）
22箱 簿冊目録 219点
- 歴史公文書B（再整理:単発で受け入れたもの）
7箱 簿冊目録88件 954点
- 歴史公文書C（再整理:受け入れ経緯が不明且つ未整理だったもの）
18箱 簿冊目録434件4,889点

13 古文書の修補

博物館実習 〔道野辺〕郷土資料館所蔵文書 4点

外部委託 〔中沢〕個人所蔵文書 13点

14 他機関との協同事業・調査

No.	実施月日	協 同 先	内 容
1	4月8日	柏歴史クラブ	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫現地調査および聞き取り調査
2	5月27日	船橋市郷土資料館	安川家文書（第2次）の整理
3	7月1日	船橋市郷土資料館	安川家文書（第2次）の整理
4	1月17日	柏歴史クラブ	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫現地調査および聞き取り調査
5	1月24日	柏歴史クラブ	旧藤ヶ谷飛行場秋水燃料保管庫現地調査および聞き取り調査
6	3月11日	千葉商科大学 大矢野ゼミ	市域古写真（明治～昭和）のAIカラー化

15 レファレンス

※来館には、企画展入場も含む。

	市内	市外	大人	子ども	来館	電話	メール	その他	合計(件)	人数(名)
4月	4	2	6	0	3	3	0	0	6	6
5月	1	2	3	0	2	1	0	0	3	3
6月	5	5	11	0	2	8	0	0	10	11
7月	7	2	9	0	7	3	0	0	9	9
8月	6	2	8	1	7	0	1	0	8	9
9月	5	3	8	0	5	1	0	2	8	9
10月	10	2	11	4	7	4	0	0	12	15
11月	4	1	5	0	2	3	0	0	5	5
12月	8	0	7	3	5	0	0	0	8	10
1月	7	1	8	0	5	1	2	0	8	8
2月	6	0	2	5	5	0	0	1	6	5
3月	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1
合計	64	20	79	60	51	24	3	3	84	139

16. 報道対応

No.	月日	取材機関	取材内容	方法
1	7月22日	読売新聞京葉支社	第25回ミニ展示	来館
2	7月26日	読売新聞京葉支社	第25回ミニ展示	電話
3	7月29日	読売新聞京葉支社	澁谷家文書の寄贈・寄託	来館
4	8月2日	千葉日報	澁谷家文書の寄贈・寄託	来館
5	8月2日	東京新聞	澁谷家文書の寄贈・寄託	来館
6	8月4日	船橋よみうり	澁谷家文書の寄贈・寄託	電話
7	8月4日	J:COM	澁谷家文書の寄贈・寄託	メール
8	9月16日	NHK千葉放送局	デジタル写真館第6回掲載写真	電話
9	10月30日	船橋よみうり	歴史講演会 I	来場
10	11月29日	読売新聞京葉支社	新資料展	来館
11	1月20日	読売新聞	郷土資料館セミナー⑤	来場
12	3月21日	読売新聞京葉支社	第26回ミニ展示	来館

17 博物館実習

〈実習生〉

- ・日本女子大学文学部史学科4年生
- ・和洋女子大学人文学部心理学科4年生
- ・東洋大学文学部史学科4年生

〈期間〉

- ・8月12日（金）～8月20日（土）

〈内容〉

- ・施設見学
- ・学芸員の業務、教育普及事業について
- ・古文書の修補
- ・民俗資料の整理
- ・考古資料・歴史資料・民俗資料の取扱
- ・展示計画の作成
- ・登録有形文化財について
- ・館外での資料保管と整理について
- ・渋谷総司資料室の見学

18 ボランティア活動

〈イベント補助〉

- ・縄文人の生活ウォッチング 7月30日
- ・郷土資料館セミナー
12月11、25日、1月8、13、20日
- ・歴史講演会 10月30日、3月19日

19 刊行物

- ・令和3年度 郷土資料館年報 第35号
3月10日発行
A4判・44頁 300部
- ・資料館だより 第59号 6月1日発行
第60号 9月15日発行
第61号 11月15日発行
第62号 2月15日発行
各 A4判・4頁
第59号のみ900部、他各1000部

20 市ホームページ掲載記事

〈「所蔵資料の紹介」シリーズ〉

No.	更新日	タイトル
1	10月4日	第21回 史料整理の現場から（1）芳野金陵の書
2	12月21日	第22回 史料整理の現場から（2）地道な調査がつなぐ歴史の破片
3	2月5日	第23回 史料整理の現場から（3）1枚の牧絵図から

〈「デジタル写真館」シリーズ〉

No.	更新日	タイトル
1	4月2日	第6回 昭和の景観（2）東武鉄道鎌ヶ谷駅
2	5月11日	第7回 昭和の景観（3）市内の十字路の昔
3	7月23日	第8回 昭和の景観（4）佐津間の白幡橋
4	9月14日	第9回 昭和の景観（5）晩秋の中沢地区の景観
5	1月13日	第10回 明治時代の鎌ヶ谷を撮影した写真 中沢の豪農三橋家

22 刊行物の売払実績

No.	書 籍 名	発 行 年	売払冊数
1	鎌ヶ谷市史（上巻）【改訂版】	平成 26 年	2
2	鎌ヶ谷市史（中巻）	平成 9 年	2
3	鎌ヶ谷市史（下巻）	平成 29 年	1
4	鎌ヶ谷市史（別巻）	平成 15 年	2
5	鎌ヶ谷市史（別巻 2）（自然）	平成 23 年	1
6	鎌ヶ谷市史資料編Ⅱ（金石文）	昭和 60 年	1
7	鎌ヶ谷市史資料集 14（鎌ヶ谷市史料目録第三集）	平成 13 年	1
8	鎌ヶ谷市史資料集 17（近・現代聞き書き）	平成 20 年	1
9	鎌ヶ谷市郷土資料館調査報告書Ⅶ（鎌ヶ谷の野鳥）	平成 11 年	2
10	平成 9 年度企画展図録（一本松遺跡展）	平成 10 年	8
11	平成 11 年度企画展図録（かまがやの文化財）	平成 12 年	1
12	平成 14 年度企画展図録（慶応 4 年・明治元年の記憶 in 鎌ヶ谷）	平成 15 年	5
13	平成 15 年度企画展図録（4000 年前のふたつのムラ）	平成 16 年	12
14	平成 16 年度企画展図録（林の生き物ウォッチング）	平成 16 年	2
15	平成 18 年度企画展図録（旅と鎌ヶ谷）	平成 19 年	2
16	平成 21 年度企画展図録（鎌ヶ谷・昭和の日〈写真集〉）	平成 22 年	4
17	平成 22 年度企画展図録（自治体鎌ヶ谷の歴史）	平成 23 年	2
18	平成 23 年度企画展図録（絵図と地図でみた鎌ヶ谷の 400 年）	平成 24 年	12
19	平成 24 年度企画展図録（地区の歴史と文化財⑤-佐津間-）	平成 25 年	3
20	平成 25 年度企画展図録（高度経済成長と鎌ヶ谷）	平成 25 年	6
21	平成 26 年度企画展図録（地区の歴史と文化財⑥-中沢-）	平成 27 年	2
22	平成 28 年度企画展図録（昔なつかしい鎌ヶ谷の民具①-生業と道具-）	平成 29 年	3
23	平成 29 年度企画展図録（鎌ヶ谷・おふだづくし～信仰の玉手箱～）	平成 30 年	2
24	令和 3 年度企画展図録（KAMAGAYA 1971-市になったころの鎌ヶ谷-）	令和 3 年	12
25	鎌ヶ谷市史研究第 8 号	平成 7 年	3
26	鎌ヶ谷市史研究第 19 号	平成 17 年	1
27	鎌ヶ谷市史研究第 21 号	平成 20 年	1
28	鎌ヶ谷市史研究第 22 号	平成 21 年	1
29	鎌ヶ谷市史研究第 29 号	平成 28 年	1
30	CD 版平成 20 年度企画展図録（初富-明治の下総台地開墾-）	令和 3 年	6
31	CD 版平成 27 年度企画展図録（交差するまちへ-鎌ヶ谷交通発展史-）	令和 3 年	5
32	CD 版平成 19 年度企画展図録 （野馬のいた風景-野馬土手捕込が語る江戸時代の鎌ヶ谷-）	令和 4 年	1
合 計 売 払 冊 数			108

III 条 例・規 則

○鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例

昭和62年1月5日条例第5号
改正 平成26年3月19日条例第6号

(設置)

第1条 郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集し、これを保管及び展示して、市民の利用に供し、その教養、学術及び文化の発展に寄与するため、鎌ケ谷市郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
鎌ケ谷市郷土資料館	鎌ケ谷市中央一丁目8番31号

(管理)

第3条 資料館は、鎌ケ谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(事業)

第4条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示及びその説明助言に関すること。
- (3) 資料に係る調査研究等に関すること。
- (4) 資料に係る講演会及び研究会等の開催に関すること。
- (5) 市史の編さんに関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、資料館の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第6条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

(入館の制限)

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 展示品又は施設等をき損するおそれがあるとき。
- (3) その他資料館の管理上支障があるとき。

(損害賠償)

第8条 入館者は、資料館の施設若しくは資料等をき損し又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事情があると認めるときは、賠償額の全部又は一部を免除することができる。

(指定管理者による管理)

第9条 資料館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、教育委員会が指定する者（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

(指定管理者が行う管理の基準)

第10条 前条の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合、当該指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるものとする。

- (1) 資料館の開館時間は、第5条に定めるところによる。
 - (2) 資料館の休館日は、第6条に定めるところによる。
 - (3) 資料館の入館の制限は、第7条に定めるところによる。
- 2 前項第1号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得て、資料館の開館時間を変更することができる。
- 3 第1項第2号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得て、資料館の休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第11条 第9条の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合、当該指定管理者が行う業務は、次に掲げるものとする。

- (1) 第4条に規定する事業に係る業務
- (2) 施設の維持管理（教育委員会が定めるものを除く。）に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要があると認める業務

(指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第12条 第9条の規定により、指定管理者に資料館の管理を行わせる場合は、第3条及び第7条の規定中「鎌ケ谷市教育委員会」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えて、これらの規定を適用する。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月19日条例第6号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則

昭和62年2月26日教委規則第4号
改正 平成元年2月21日教委規則第4号
平成元年10月27日教委規則第20号
平成17年7月28日教委規則第7号
平成26年3月31日教委規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例(昭和62年鎌ケ谷市条例第5号。以下「条例」という。)第13条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(職員)

第2条 鎌ケ谷市郷土資料館(以下「資料館」という。)に館長その他必要な職員を置く。

(資料の館外貸出)

第3条 資料の館外貸出を受けようとする者は、貸出承認申請書(別記第1号様式)を鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に提出し、資料貸出許可書(別記第2号様式)の交付を受けなければならない。

2 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育委員会が適当と認める者

(資料の寄託)

第4条 教育委員会は、資料館の展示又は研究に資する目的で、資料の寄託を受けることができる。

2 資料を寄託しようとする者は、資料寄託申込書(別記第3号様式)を教育委員会に提出するものとする。

3 教育委員会は、資料を受託したときは、受託品預り証(別記第4号様式)を寄託者に交付しなければならない。

4 教育委員会は、受託した資料の模写、模型製作、写真撮影等を行い、又はこれを公刊しようとするときは、事前に寄託者の承諾を得なければならない。

5 第三者が、前項の行為をしようとするときは、館長は寄託者の承諾を確認しなければならない。

6 受託資料が災害その他避けられない事故により損害を生じたときは、教育委員会はその責を負わない。

(指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第5条 条例第9条の規定により資料館の管理を指定管理者に行わせる場合は、第3条第1項中「鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)」とあるのは「指定管理者」と、第3条第2項及び第4条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第4条中「館長」とあるのは「指定管理者」と、別記第1号様式から別記第4号様式までの

規定中「鎌ケ谷市教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(平成元年2月21日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成元年10月27日教委規則第20号)

この規則は、平成元年11月1日から施行する。

附 則(平成17年7月28日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月31日教委規則第4号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市史編さん審議会条例(休止中)

昭和62年3月28日 条例第13号

(設置)

第1条 鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、本市の市史編さんに関する基本的事項を調査審議するため、鎌ケ谷市史編さん審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、次に掲げる事項の調査審議を行う。
市史編さんの基本方針に関すること。
市史編さん計画に関すること。
その他教育委員会が必要と認めること。

(組織)

第3条 審議会は、委員5人以内で組織し、学識経験者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、市史編さん主管課において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

館外貸出承認申請書

年 月 日

鎌ヶ谷市教育委員会 様

申込団体名
所在地
電 話
代表者氏名

鎌ヶ谷市郷土資料館の資料を、下記により借用したいので申請します。

記

1 借用の目的

2 借用期間 年 月 日 から 年 月 日

3 利用の場所

4 利用の方法

5 借用したい資料

資 料 名	数 量	備 考

6 輸送方法

7 資料取扱責任者

8 備 考

第2号様式（第3条関係）

館外資料貸出許可書

年 月 日

様

鎌ヶ谷市教育委員会

年 月 日付けで申請のあった鎌ヶ谷市郷土資料館の資料の館外貸出については、下記のとおり許可します。

- 1 利用目的
- 2 貸出期間
- 3 利用の場所
- 4 利用の方法
- 5 貸出資料

資 料 名	数 量	備 考

- 6 輸送方法

第3号様式（第4条関係）

資料寄託申込書

年 月 日

鎌ヶ谷市教育委員会 様

申込者住所
氏 名
職 業
電 話

鎌ヶ谷市郷土資料館の資料として下記のとおり寄託したので申し込みます。

記

物 品 名	数 量	寄託期間	備考（希望事項等）

第4号様式（第4条関係）

受託品預り証

年 月 日

様

鎌ヶ谷市教育委員会

下記の物品を鎌ヶ谷市郷土資料館の資料として、確かにお預かりしました。

記

物 品 名	数 量	寄託期間	備 考

IV 寄 贈 図 書

都道府県	発行機関	書名
北海道 宮城	平取町教育委員会文化財課	シシリムカ文化財だより No.17
	奥松島縄文村歴史資料館	令和3年度赤井官衙遺跡群 国史跡指定記念講演会 『赤井官衙遺跡群が語るもの』 令和3年度奥松島縄文村講演会『縄文遺跡と世界遺産』
茨城	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	第25回企画展「海へー内湾と外洋の漁労ー」
	古河歴史博物館	古河歴史博物館紀要 泉石 第15号 古河歴史博物館年報 Vol.30
栃木	取手市埋蔵文化財センター	取手市埋蔵文化財センター第50回記念企画展 目で見てふりかえる取手
	栃木県立博物館	第132回企画展「異界～あなたとふいにつながるせかい～」 栃木県立博物館 研究紀要―人文― 第39号 開館四十周年記念特別企画展「鑑真和上と下野薬師寺 天下三戒壇でつながる信仰の場」
群馬	岩宿博物館	岩宿時代通信 オリジン vol.95、96 岩宿博物館調査研究報告書 第1集 相澤忠洋資料 整理報告書 岩宿フォーラム2022/シンポジウム 「東北頁岩と北関東地方」 予稿集 岩宿博物館 令和3年度 年報 岩宿博物館開館30周年記念特別展（第76回企画展）「東北地方岩宿時代研究のパイオニア「加藤 稔の研究業績」 展示図録
	川口市教育委員会教育総務部 文化財課 行田市郷土博物館	川口市史料叢書 第二集 御用留 近代編 第2巻 行田市郷土博物館報 第21号 開館35周年記念 第32回テーマ展「縄文・弥生の足あとー古墳以前の行田を知るー」 開館35周年記念 第35回企画展「天正十八年～関東の戦国から近世～」
埼玉県 さいたま市 戸田市立郷土博物館彩湖自然学 習センター 戸田市立郷土博物館	埼玉県地域史料保存活用連絡協 議会	埼玉県地域史料保存活用連絡協議会 会報 第四十八号
	さいたま市 戸田市立郷土博物館彩湖自然学 習センター 戸田市立郷土博物館	さいたま市史 民俗編 I ～社寺の信仰～ 第28回企画展 彩湖自然学習センター（みどりパル）の25年 みどりとも に 郷土博物館だより Vol.48 研究紀要 第30号 市史調査報告書第23集 戸田市関係新聞記事索引（平成IV）
三郷市 吉川市教育委員会	三郷市 吉川市教育委員会	三郷市史研究 葦のみち 第32号 令和5年吉川市の文化財展「自然災害伝承碑登録ー市内に残された水害の記録ー」
	東京 青山学院大学文学部史学研究室 板橋区教育委員会 板橋区立郷土資料館	青山史学 第四十号 ー藤原良章教授退任記念号ー 第20回櫻井徳太郎賞受賞論文・作文集 歴史民俗研究 令和4年度 区制施行90周年記念展 板橋区の成り立ちとあゆみ パンフレ ット 開館50周年記念特別展「接收刀剣ー板橋に集いし赤羽刀ー」 令和4年度企画展旧粕谷家住宅築300年記念「いたばしの古民家」
一般財団法人東武博物館 江戸東京たてもの園	一般財団法人東武博物館 江戸東京たてもの園	東武博物館だより No.178～183 江戸東京たてもの園だより 59 江戸東京博物館 NEWS Vol.116～117 東京都江戸東京博物館紀要 第13号
	学習院大学学芸員課程委員会 葛飾区郷土と天文の博物館	学芸員 学習院大学学芸員課程 2022 No.26 葛西城址・青戸御殿出土資料集4 葛飾うち博物館 博物館だよりジュニア 2022年度夏・特別号 博物館だより 2022年夏号・秋号（No.133～134） 令和4年度企画展「東京低地に人が住み始めた頃～古墳時代前期のかつし かとその周辺～」
北区飛鳥山博物館	北区飛鳥山博物館	「幻想の江戸ー異文化のまなざしに映った他者・表象・言説ー」 北区飛鳥山博物館研究報告 第24号 北区飛鳥山博物館だより ばいす 49 秋季企画展「縄文料理と弥生ごはん」
	公益財団法人渋沢栄一記念財団 公益財団法人笹川保健財団 国立ハンセン病資料館 國學院大學博物館 渋沢史料館	青淵 第877号～888号 国立ハンセン病資料館 資料館だより No.115～117 国立ハンセン病資料館 資料館だより No.118、ライト 國學院大學博物館 研究報告 第39輯 渋沢研究 第三十五号

都道府県	発行機関	書名
	昭和館	昭和のくらし研究 No.20 令和3年度 昭和館館報
	昭和女子大学 光葉博物館	沖縄復帰50年記念 沖縄の民具・工芸にふるさとを想う—川平朝清沖縄— 昭和女子大学光葉博物館コレクション 日本の郷土玩具Ⅳ—車偶庵コレクション—
	浅草寺	浅草寺 佛教文化講座 令和3年度 第66集
	大正大学博物館学芸員課程	けやき 大正大学学芸員課程年報 第26号(令和3年度)
	大正大学史學會	鴨台史学 第16号、17号
	日本女子大学	日本女子大学 博物館学芸員年報 No.20
	日本大学理工学部科学技術史料センター	CST MUSEUM 会報 第25号、26号
	練馬区立石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol. 43～46
	府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館だより あるむげお No.140～142
	文京ふるさと歴史館	文京ふるさと歴史館だより 第29号 文京ふるさと歴史館年報 第25号
	明治大学学芸員養成課程	MUSEOLOGIST 2021年度明治大学学芸員養成課程 年報 37 MUSEUM STUDY 2021年度明治大学学芸員養成課程 紀要 33
	明治大学博物館	明治大学博物館 2022年度特別展「新しいお殿様—所替・その後—」 内藤家文書 御役人前録
千葉	靖國神社社務所	靖國 第801号～812号
	愛国学園大学	愛国学園大学人間文化研究紀要 第24号
	旭市教育委員会	大原幽学記念館報告 第八号 史跡 大原幽学遺跡 旧宅、墓および宅地耕地地割 整備基本計画 概要版 我孫子市文化財報告第20集 杉村楚人冠の青少年時代—名ジャーナリストの原点を探る—
	我孫子市教育委員会	
	市川市	市史研究 いちかわ 第13号
	市川緑の市民フォーラム	クロマツが伝えてくれる—戦争と市川
	市立市川歴史博物館	令和3年度市立市川歴史博物館館報
	一宮町教育委員会	上総広常とその時代
	市原市教育委員会	いちはらフィールドマップ 市原 いちはらフィールドマップ 八幡
	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第23号
	印西市市史編さん委員会	印西の歴史 第13号
	印西市立印旛歴史民俗資料館	研究紀要第4号
	江戸川大学	江戸川大学 博物館学芸員資格取得養成課程年報 Vol. 14
	鎌ヶ谷市教育委員会	教育広報 ひびきあい No.69～71 令和4年度鎌ヶ谷市の教育 鎌ヶ谷市埋蔵文化財調査報告 第38集 千葉県鎌ヶ谷市国史跡下総小金中野 牧跡関連野馬土手総括報告書 鎌ヶ谷市埋蔵文化財調査報告 第39集 令和3年度 鎌ヶ谷市内遺跡発掘調査報告書
	鎌ヶ谷市立図書館	かまがや図書館だより No.85～88
	鎌ヶ谷地区保護司会	保護司会だより 第44号
	川村学園女子大学図書委員会	川村学園女子大学 研究紀要 第33号
	木下まち育て塾	まち育てだより 第19号
	木更津市	木更津市史研究 第5号
	木更津市教育委員会教育部文化課	木更津市史編さんだより 木更津の歴史・文化・自然再発見マガジン 第6号
	君津市立久留里城趾資料館	君津市立久留里城趾資料館令和3年度企画展「君津のひみつ」解説書 川廻し(かわまわし) 二五穴(にごうあな) 君津市立久留里城趾資料館年報 42、43 久留里城趾資料館 53号
	公益財団法人千葉県教育振興財団	令和4年度出土遺物公開事業 柏北部東地区の遺跡展—地中からの目覚め— 講演会講演要旨 令和5年度 体験のしおり
	国立歴史民俗博物館	企画展示「中世武士団 地域に生きた武家の領主」 令和4(2022)年度国立歴史民俗博物館 要覧 国際企画展示「加耶 KAYA 古代東アジアを生きた、ある王国の歴史」
	佐倉市立美術館	「没後35年清原啓子銅版画展」

都道府県	発行機関	書名
	淑徳大学アーカイブズ	令和4年淑徳大学アーカイブズ特別展「『浄土宗関東十八檀林 大念寺日鑑』刊行記念 いま、読み解かれる『大念寺日鑑』—地域社会と福祉— 淑徳大学アーカイブズ・ニュース vol.25、26
	白井市教育委員会	白井市文化財基礎調査報告書第15集 白井市の民俗3 ～衣・食・生業～ 白井市文化財基礎調査報告書第16集 白井市の民俗4 白井の方言辞典 白井市埋蔵文化財調査集報 —平成31・令和2年度—
	白井市教育委員会生涯学習課文化班	しろいのれきし案内 文化財解説シート No.15 白井市指定文化財「富ヶ沢の辻切り」 文化財解説シート No.16 白井市指定文化財「一億供養塔」 白井市郷土史の会機関誌 たいわ—語り伝える白井の歴史— No.37 令和4年度白井市郷土資料館企画展解説冊子「新四国巡礼～人々の祈りの旅～」 かおり だより 6号 白井市郷土資料館年報 第19号
	白井市郷土史の会 白井市郷土資料館	お出かけ情報誌 Cia0 Vol.161～166 袖ヶ浦市郷土博物館開館40周年記念企画展「富士山—畏れ・敬い・憧れ—」 館山市立博物館 令和3年度企画展「よみがえる近代安房の風景—川名写真館の世界—」展示図録No.30 館山市立博物館報 ミュージアム発見伝 No.96
	新京成電鉄株式会社 袖ヶ浦市郷土博物館	ちいき新聞 VOL.1105～1154 千葉県文化芸術推進基本計画 千葉県協だより 第56号 千葉県博物館協会報 ちばの博物館 No.146 MUSEUM ちば 千葉県博物館協会研究紀要 第47号 企画展「房総教育志—明治を生きた先生たち—」 収蔵文書目録第三十六集 市原市分目 岡田（利）家文書目録4 千葉県の文書館 第28号
	館山市立博物館	千葉県立現代産業科学館 科学館ニュース No.44 令和4年度企画展「関東 塩ものがたり」 千葉県立中央博物館研究報告 第16巻 第1号 令和3年度特別展「バラのすべて～All about Roses～」 房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 73～76
	地域新聞社船橋支部 千葉県環境生活部県民生活 千葉県史料保存活用連絡協議会 千葉県博物館協会	千葉県立美術館報 みる かたる つくる No.49（通巻111号） 令和3年度 千葉市・千葉大学公開市民講座 講演録 千葉氏・禅宗・東アジア—中世房総をめぐる新たな視座— 千葉いまむかし No.35 千葉歴史文化フォーラム2022「千葉氏と房総の馬牧—古代・中世・近現代—」レジュメ集
	千葉県文書館	陸軍気球連隊と第二格納庫—知られざる軍用気球のあゆみと技術遺産ダイヤモンドトラス— 研究紀要第28号 ちば市史編さん便り No.29 令和4年度企画展関連資料集 甘藷先生の置き土産～青木昆陽と千葉のさつまいも～ 恩田家文書目録（2） ながれやま博物館だより 第2号 流山市立博物館年報 No.44 流山市立博物館友の会会報 におどり 第121号 東葛の橋めぐり事典 「尾崎邑鵬展」 成田市史研究 46 南部地区 歩いて再発見 歩々歩々マップ
	千葉県立現代産業科学館 千葉県立関宿城博物館 千葉県立中央博物館	野田市史研究 第32号 野田市郷土博物館 市民会館 年報・紀要 第15号 2021年度 「襲日荘一〇〇年—大正時代 保田を愛した歌人や画家たち」 夏の特別展「大東京湾展2022」展示物貸出のご案内 令和2年度船橋市所蔵作品展「椿貞雄と清川コレクション」 令和4年度船橋市所蔵作品展「磯田長秋—船橋で時を描いた日本画家—」
	千葉県立中央博物館・房総の山のフィールド・ミュージアム 千葉県立美術館 千葉市・千葉大学	
	千葉市教育委員会 千葉氏顕彰会	
	千葉市立郷土博物館	
	流山市教育委員会 流山市立博物館	
	流山市立博物館友の会	
	成田山書道美術館 成田市教育委員会 南部地区社会福祉協議会（南部公民館内） 野田市 野田市郷土博物館 菱川師宣記念館 ふなばし三番瀬環境学習館 船橋市教育委員会	

都道府県	発行機関	書名
	船橋市郷土資料館	令和3年度 船橋市郷土資料館年報
	船橋市郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館	みゅーじあむ・船橋 vol.18、19
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	第20回 縄文コンテンポラリー展 in ふなばし とびはくにもぐろう！～縄文時代と対話する～ 令和3年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展「船橋のいちばん暑かった時 縄文時代前期の地球温暖化」 飛ノ台史跡公園博物館紀要 第18号 船橋市立法典小学校 創立150周年記念誌 法典 船橋よみうり No.1395、1407
	船橋よみうり新聞社	船橋よみうり No.124、125
	北総鉄道株式会社	水とみどりと歴史の回廊マップ 松戸地区
	松戸市役所	「奥井コレクションのイスラーム陶器」
	松戸市立博物館	松戸市立博物館紀要 第29号 松戸市立博物館年報 第29号
	八街市郷土資料館	松戸市立博物館友の会会報 第126号、128～131号 令和3年度八街市郷土資料館誌上企画展「“やちまた”の偉人 前山清一郎」 市制施行30周年記念誌「写真にみる 八街の150年」
	八千代市立郷土博物館	八千代市立郷土博物館 館報 No.28
	四街道市	「四街道市の歴史」別編1 市制施行40周年記念誌 写真に見る四街道の歴史
	早稲田大学校友会 鎌ヶ谷稲門会	早稲田大学校友会 鎌ヶ谷稲門会 20年誌 集り散じて 人は変れど
神奈川	神奈川県立公文書館	令和3年度神奈川県立公文書館年報 神奈川県立公文書館だより 第47号
	神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会	神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会 会報 第48号
	神奈川県立日本常民文化研究所	民具マンスリー 第55巻1号～12号 歴史と民俗 神奈川県立日本常民文化研究所論集 39
	公益財団法人 馬事文化財団	馬の博物館 研究紀要 第23号
	寒川町	寒川町史研究 第33号
	首都圏形成史研究会	年報 首都圏史研究 2021 第11号 首都研ネットワーク 第93号～96号
	鶴見大学博物館学芸員課程	鶴見大学博物館学芸員課程年報 第3号
	平塚市博物館	平塚市博物館年報 第45号 平塚市博物館研究報告 自然と文化 第45号 令和3年度(2021年度)春期特別展「掘り起こされた平塚IV一姿をあらわす遺跡たち」 令和四年度秋季特別展「星になった民具たち」 第22回博物館文化祭ーワーキンググループ活動展示・発表・実演ーリーフレット
	藤沢市文書館	藤沢市史料集(四十四) 相模国鎌倉郡小塚村「御用留」(12) 明治8年(下) 歴史をひもとく藤沢の資料6 長後地区
新潟	横浜開港資料館	開港のひろば No.154
	十日町市博物館	縄文時代の始まりを探る 展覧会資料 十日町市博物館年報 第8号 里山の石仏ー松之山の祈りと信仰ー
	新潟県歴史資料保存活用連絡協議会	新史料協だより No.27
長野	飯田市歴史研究所	飯田市歴研ニュース No.11～122 飯田市歴史研究所 年報 20
	嬭恋郷土資料館	浅間山大噴火から240年。「天明三年」を語り継ぐ 特別展「宥弁の歩んだ足跡 天明三年の供養と語り継ぎ」
静岡	掛川市	吉岡下ノ段遺跡第17次調査瀬戸山I遺跡第7次調査 発掘調査報告書 中原遺跡第9次発掘調査報告書
	沼津市明治資料館	「図説 江原素六」 沼津市明治史料館通信 通巻149号～152号 沼津市博物館紀要 46～47
愛知	明治大学博物館・南山大学人類学博物館	明治大学博物館+南山大学人類学博物館合同シンポジウム報告書 2019-2020

都道府県	発行機関	書名
		南山大学人類学博物館紀要 第41号
岐阜	各務原市教育委員会	かがみはら百科 Vol.03
滋賀	栗東歴史民俗博物館	かがみはら百科プラス 令和3年度企画展 川上貞奴と各務原 Vol.02 栗東歴史民俗博物館紀要 No.43
京都	南丹市立文化博物館	栗東歴史民俗博物館だより 第28号 南丹市立文化博物館収蔵資料目録 第9集 岩崎革也宛書簡(解説編) 名勝指定90周年・令和4年度春季企画展「るり溪と南丹の名所」 令和4年度夏季特別展「園部垣内古墳—発掘五〇年をふりかえる—」 南丹市立文化博物館だより 第18号
奈良	天理大学附属天理参考館	令和5年 春季特別展「國府克展—山の魅力に惹かれて—」
大阪	柏原市立歴史資料館	令和4年度秋季特別展「街道一人々のくらしをつなぐ道—」 天理参考館報 柏原の歴史1 旧石器～弥生時代 史跡高井田横穴公園開園柏原市立歴史資料館開館30周年記念夏季企画展 「史跡誕生100年高井田横穴と松岳山古墳」 令和3年度春季企画展「聖徳太子の伝説と真実 柏原・王寺・三郷の道と寺」 柏原市古文書調査報告書第十七集 中河内郡堅下村大字大泉 山崎家文書目録I
	大東市産業・文化部生涯学習課	大東市史編纂資料集11 野崎観音慈眼寺文書 上 大東市埋蔵文化財調査報告第44集 大東市北条7丁目所在 北条西遺跡発掘調査報告書2 —社会福祉施設建設に伴う埋蔵文化財発掘調査—
	羽曳野市教育委員会	古市遺跡群XLIII 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書89 羽曳野市内遺跡調査報告書—令和元年度— 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書90
その他	個人 吉川弘文館	知りたい鎌ヶ谷～コミセン周辺めぐり～ 日本歴史 2022年5月号、10月号

鎌ヶ谷市郷土資料館年報 第36号

[令和4年度]

令和6年3月1日発行

発行 鎌ヶ谷市郷土資料館

〒273-0124 千葉県鎌ヶ谷市中央1-8-31

TEL 047(445)1030

FAX 047(443)4502